

CLOVER STUDIO



天道太子一寸輯錄

大神設定画集

大神繪草子

絆



ISBN4-86233-088-6

C0076 ¥3200E



9784862330888

株式会社カブコン
定価 本体3,200+税



1920076032004





大神繪草子 絆

本書は、神話の時代から語り継がれる「大神」という物語に関して書かれた、絵巻、古文書を集めて合本したものである。文章に関しては現代語に訳してあるが、装丁等に関しては保存されていた状態のものをそのまま収録した。

大神設定図繪……………

アマテラス……………

イツスレ……………

人物編……………

妖怪編……………

背景編……………

繪コレテ……………

『大神』生みの親である二人から
大神を愛してくれた

貴方へのメッセージ…

大神茶屋 一休……………

第七代 天道太子一寸画
大神天道繪卷……………

大神傳聞錄……………

四葉堂所蔵
「大神」関連残存資料集

②の印は『大神 オリジナル・サウンドトラック』
に対応しています。サウンドトラックをお持ちの方
は、BGMとしてお聞きください。
①内の漢数字は、ディスク番号を表しています。
その後の漢数字は、曲番号を表しています。

目次

アマテラス	四
イツスレ	十二
ナカツクニの地図	十四
道中人物繪卷	十六
天の川	十七
神木村	十八
花咲谷	十九
神州平原	二十
アガタの森	二十一
ツタ巻遺跡	二十二
高宮平	二十三
クサナギ村・風神宮	二十四
笹部郷	二十五
十六夜の祠	二十六
関所・両島原	二十七
西安京(庶民街)	二十八
西安京(貴族街)	二十九
宝帝の屋敷	三十
両島原北	三十一

妖怪伝承図繪

龍宮	三十二
鬼ヶ島	三十三
カムイ	三十四
ウエベケレ	三十五
ボレコタン	三十六
神木村(百年前)	三十七
エソフジ	三十八
箱舟ヤマト	三十九
妖怪伝承図繪	四十
天邪鬼系	四十一
鶴系	四十二
烏天狗系	四十三
輪入道系	四十四
大天狗系	四十五
一郎丸系	四十六
牛頭鬼系	四十七
狗系	四十八
蜘蛛系・人型系	四十九
お札系・壁系・錠前系	五十
首領系	五十一

アマテラス大神

その昔、天界タカマガハラを荒らす魔物を追い、地上へやって来た神様。太陽を司り、「慈母」「大神」と崇められている。信仰心の薄い人には白いオオカミに見えてしまうが、隅取りの入ったこの絵が真の姿である。自然界の力を自在に操る十三の法力を持ち、伝承には「筆しらべ」として語られている。









武装アマテラス 鏡

八咫鏡

やたのかがみ

神々しき日輪を鑑いし
聖鏡。煌々と燃え盛る
炎の力を宿す。

真経津鏡

まふつのかがみ
サクヤ姫から授かった鏡。
宿る通力で、敵の攻撃を防
ぐこともできる。

神獣鏡

しんじゅうきよう

神獣の印が、刻まれた鏡。
表神器に据えらるゝ画点の
筆葉が宿る。

辺津鏡

へつかがみ

知識・力・信仰の三位一体
を表す鏡。攻守を極め、悪
しき者を蹂躞する。

沖津鏡

おきつかがみ
輪廻転生の理が、刻み込ま
れた鏡。悪しき者に、等し
く裁きを与える。

都牟刈太刀

つむがりのたち
オロチの尾より現れた聖
剣。ボタンを長く押して
力を溜め、敵を断つ。

草薙剣

くさなぎのつるぎ
キエウヒの尻から蘇りし
剣。新緑の刃をもって、
悪鬼を断ち切る。

八握剣

やつかのつるぎ
八手の戦神が、振るったどさ
れる神剣。表神器に据える
時、画点の筆葉が宿る。

七支刀

ななつさやのたち
刀身が七つに分かれた
た剣。表神器に据える
時、画点の筆葉が宿る。

天叢雲剣

あまのむらくものつるぎ
空に閃く雷光を、纏いし聖剣。
進む雷の力を、その刀身に宿す。

武装アマテラス 剣

武装アマテラス 勾玉

やさかにのまがたま

八尺瓊勾玉

荒れ狂う吹雪の力が、宿りし勾玉。凍てつく氷の力をもって、敵を截く。

道返玉

ちがえしのたま
清廉なる光を、その身に宿した勾玉。浄化の力をもって、敵を誅する。

たるたま 足玉

神通力が漲る勾玉。衆神器に据える時、ボタンを連打すること、激しく攻撃する。

いくたま 生玉

生命の輝きが奉ぜられた勾玉。漲る命の力で、悪しき者を断つ。

まかるがえしのたま 死返玉

道を迷えた悪しき魂を、黄泉へと導く死を、司る神器。



イツスンとアマテラス



さすらいの旅絵師

イツスン

神々の姿を描き記し、人々に信仰を広める「天道太子」を祖父に持つコロボツク。修行の厳しさから自信を失っていたが、アマテラスとの旅を通じて絵師としての情熱を取り戻し、立派な天道太子へと成長していく。憎まれ口ばかり叩いているが、義侠心あふれる男で情に流されやすく、美人の頼みに弱い。

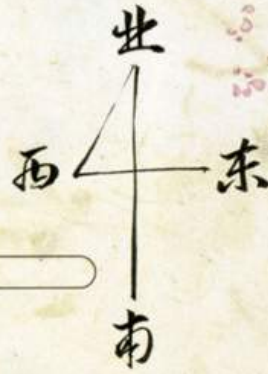
18
19
十八、二十九

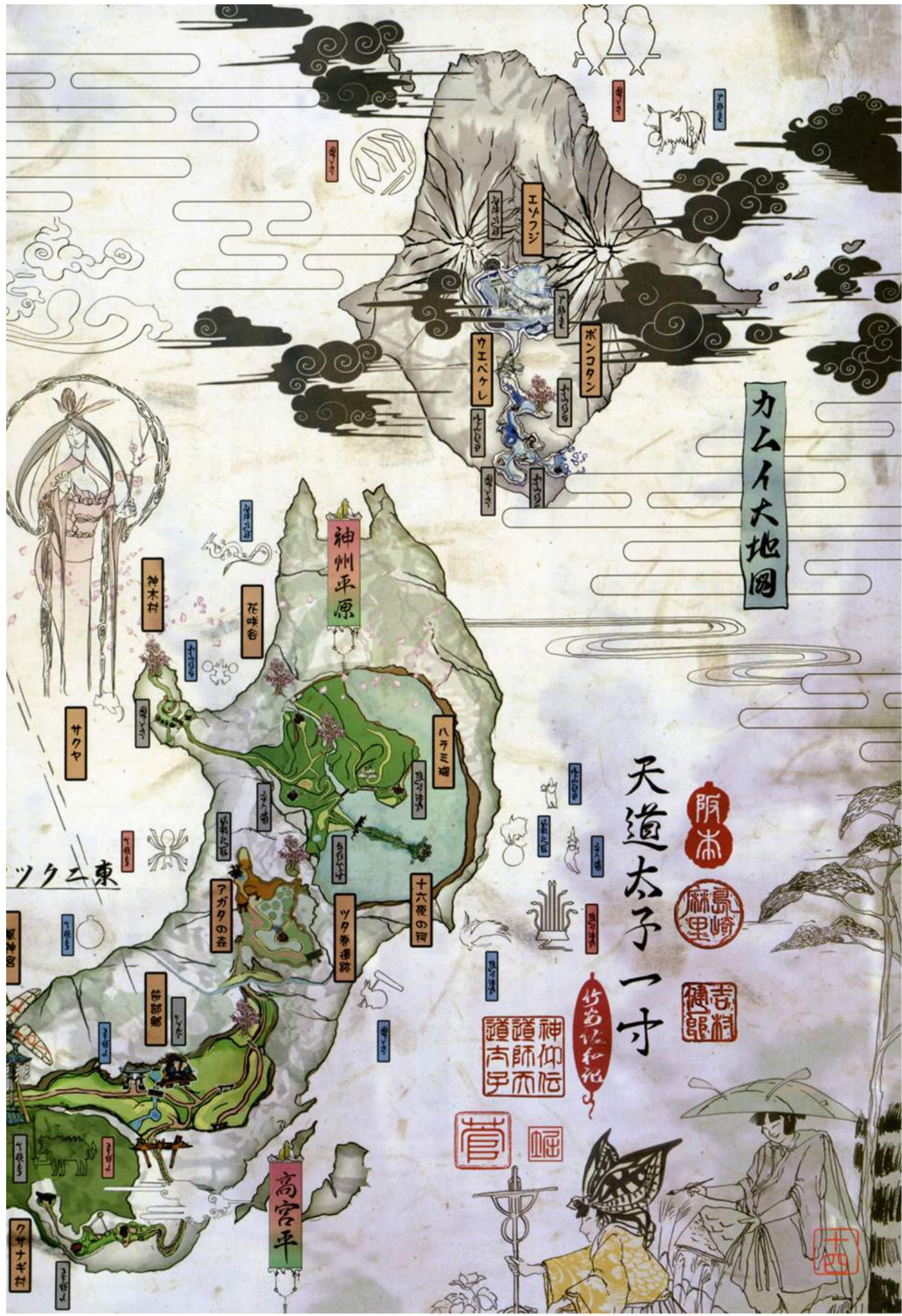


ナカツクニ大地図

開発当初より描きたいと思っていた地図です。が、ゲームの構成が決まらないことには描けなかったため、最後にギリギリで描いた絵です。これは辻棲が合わないという意味が無いので、背景デザインの方さん、驚坂さんとインタフェースデザインの方本さんには、いろいろとデータを作る際に協力してもらいました。ぜひ、これを見ながらプレイしてみてください。辻棲はすべて合わせました。

佐和記





カムイ大地図

天道太子一寸

阿木

島崎
麻里

吉村
健郎

神仰伝
道師不
道古早

菅

福

十四

天の川

蘇神



龍画

おお……
我らが慈母 アマテラス大神
御許がこの世を去られて 幾星霜
時世経て 久しくなりにけるも
この蘇神 ひと時も欠くことなく
今日の日を 待ち申しけり
御許の 御隠れの際に 転び出でし
十三の筆神は
この 広い人界に 惑い
散り散りになりけり
我は 天の星座となりて
生き長らえたるを
いま一度 御許に仕わせ
失せ物の 蘇るを見継がせ給え！
この力あらは 涸れた天の川など
忽ち 星くずで 溢れさせ給いぬ

道中人物繪卷

アマテラスとイッスシの旅は長い、長いものじゃった。
幾多の困難も、二人で力を合わせて乗り切った。
遥かなる旅路の中で、数え切れないほどの、
多くの人たちと心をつなぐことで、イッスシは大きく成長したんじや。
この物語は、イッスシの成長記ともいえる。
今一度、出遭った人々や筆神さま、人ではないものも含めて、
振り返ってみるとするか。



断神

一閃

おお：
我らが慈母アマテラス大神
物の怪蔓延る塵界で
我が身を隠せるのは
古の英雄を祀る
この細やかなる祠のみなりけり
万象の神たる御許を助くる事こそ
我が務めなれば
退魔の剣舞を以って悪を祓う大役
この断神に預けられよ！

神木村

蓮ノ花神

おお、
我らが慈母アマテラス大神
我神木に身を寄せ
禍々しき浮世から逃れたるを
戦とあらばこの蓮ノ花神
御許の懐に帰り奉りて
随神万里の波濤にいざ向かわん！

水蓮





本精
サクヤ

神木村の二神木「コノハナさま」に宿る精霊。サクヤは地上の自然を支えていたが、人々の信仰心が薄れゆく中、その力を失いつつあった。蘇ったヤマトノオロチに対抗するため、わずかに残る力を使ってアマテラスの御魂を地上に再臨させる。

大剣士
スサノオ

百年前にオロチを倒した伝説の剣士イサナギの子孫。大剣士を豪語しているが臆病で、周囲の期待に耐えかねて自暴自棄となり、十六夜の祠でヤマタノオロチを封じる宝剣を抜いてしまう。その後、魔物から逃げ惑うが、アマテラスの助力とクシナダへの愛がスサノオを奮起させ、一族の仇敵であるヤマタノオロチを見事に打ち倒した。

⑥ 二十八、二十九、
三十一、三十三、
三十九、四十一、
③ 十一、十三、
十六、十八



酒蔵人
クシナダ

神木村で酒造りを営む女性。性格はおっとりしているが芯は強く、勇敢な心を持っている。百年前のオロチ討伐に使われた「八塩折之酒」を造ったイサナミの子孫だけあり、クシナダの造る酒は逸品と評判で遠方から客がやって来るという。

⑥ 三 三十五



神木村

ミカン婆

ミカン翁の妻。ミカン爺と同じく信仰心を忘れない老人。ふだんは穏やかな性格なのだが、ミカン爺いわく「怒ると妖怪よりも怖い」そうなの……。桜餅を作るのが得意だが、そのときは豪強の鬼と化す。



長老
ミカン爺

気難しい面もあるが、信仰心はあつい神木村の長老。枯れゆく神木に命の息吹を与える秘伝の舞い「真神楽」の数少ない継承者で、舞い姿のりりしさと頭上のミカンの大きさは、アマテラスさえもくぎ付けとなった。

6 一 二十
二 七

ムシカイの母ちゃん

ムシカイの母親。小さな畑で大根を育てており、作物に注ぐ愛情は深い。しかし、自慢の大根は息子や銅い犬、果てはアマテラスからも狙われるため、気苦労が絶えない。むやみに畑を掘り返す不届き者は、母ちゃんのゲンコツに悶絶することになるだろう。

6 一 二十六

ムシカイ

神木村に暮らす少年で、捕まえた虫を糸でくくり、愛犬ハヤブサと元気に駆け回っている。母親の畑の大根を掘り返こさせるいたずらに、アマテラスを巻き込む。

ハヤブサ(ハダ士 忠狗)

ムシカイの愛犬で、彼とは無二の親友。実はこのハヤブサは二代目。初代はムシカイの父とともに、森で妖怪に襲われ落命した。その現場を偶然通りかかったハダ士である忠狗は、初代の遺言を聞き、来たるべきムシカイの危機を救うため、常にかたわらに寄り添っている。

6 二 三十七

忠狗



三二

サザンカ

ツバキ

かつて先祖が全国に植えたといわれる木をたどり、一族の故郷を捜す旅を続ける姉妹。姉のサザンカはしっかり者で、幼い妹を支えている。妹のツバキは純真な心を持つ少女で、アマテラスの赤い隈取りや、イザナギ窟への入口を見ることが出来る。



虚無僧

修行のために全国行脚をしている僧で、神木村を訪れた際にオロチ復活の騒動に巻き込まれた。さすが僧侶だけあり妖怪の姿を捉えることができ、アマテラスが妖怪を退治するまでの所要時間を正確に数えてくれる。

行商人

全国を回って名産を売り歩く、旅の商人。ナカツクニの各地に大勢の仲間がおり、訪れる客が犬でもオオカミでもおかまいなしで、熱心に商売に励んでいる。商品の中には、まれに神器がまぎれており、行商人たちの仕入れルートは侮れないものがある。



神木村

花咲谷

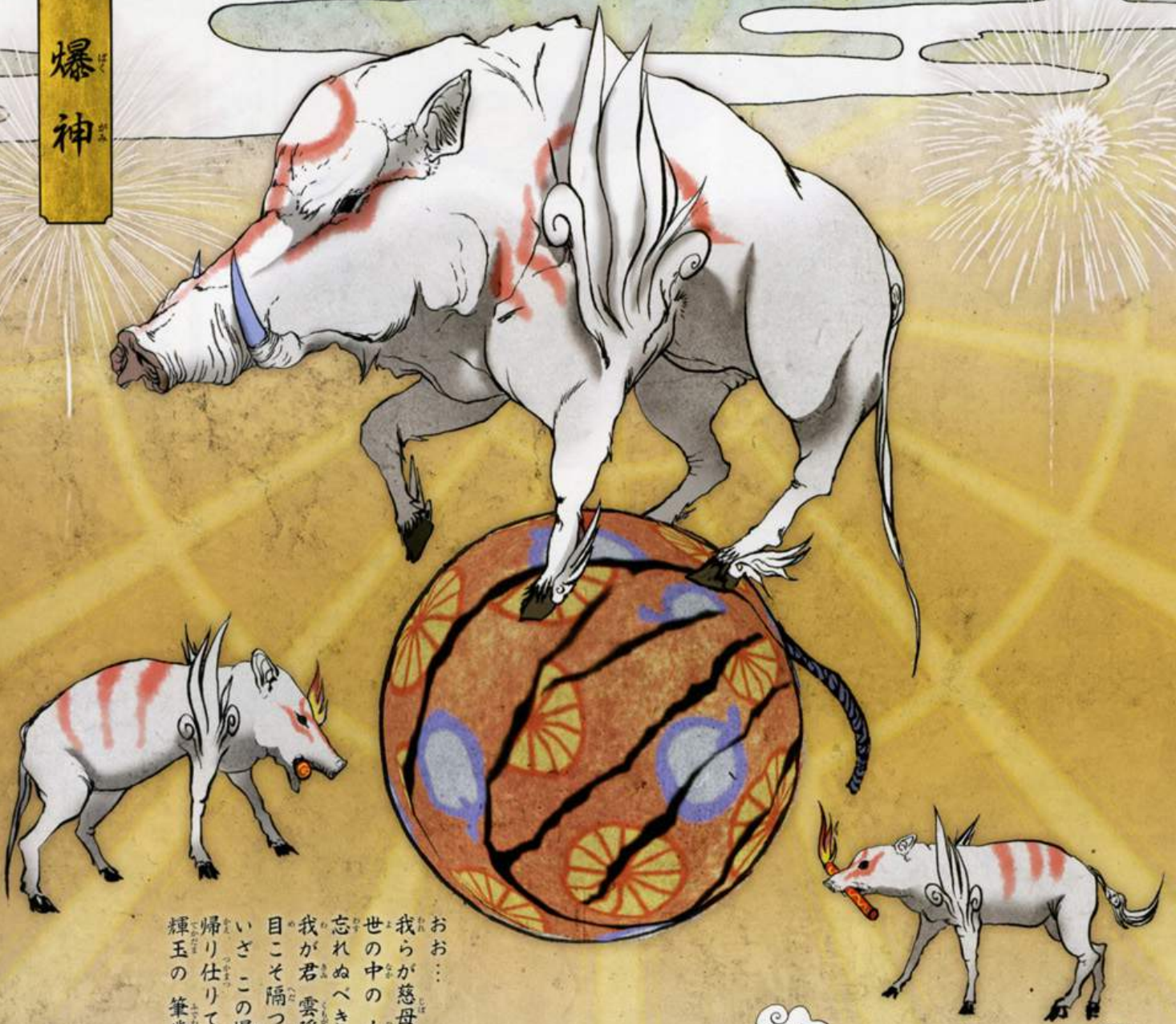
咲ノ花神

花咲

おお……
我らが慈母 アマテラス大神
物の怪に憑かれ
封ぜられたる我が身を
御許の通力にて救い給わり
誠に畏れ多く候
いざこの花神 全霊を尽くして
御許の旅路に花香を捧げ奉らん！

神州平原

爆神



おおお
我らが慈母アマテラス大神
世の中の人の心は目離るれば
忘れぬべきものにこそあめれど
我が君雲隠れ給いて
目こそ隔つとも何でう心隔つや
いざこの爆神唯今御許のもとへ
帰り仕りて
輝玉の筆業謹みて捧げ奉らん！

輝玉



小柄流頭首
小柄鬼斬齋

神州平原で小さな道場を構える老人。ふだんはおっとりした性格だが、門徒に対しては、性格と顔が百八十度豹変。鬼神のごとき厳しい指導を行う。両島原とカムイに道場があり、なぜか師範は同一人物。その生活範囲からして、もはや只者ではない。

四十九、五十

特急野郎
イダテン

神州平原を中心に駆け回る飛脚。横行する妖怪たちをものともせず、驚異的な脚力で手紙を配達している。その速さはまさに拿駄天のごとしで、話しかけるのも一苦労だ。

五十七

十六夜神社神主
ミカヅキ

十六夜の祠を管理する神官。いたって真面目な性格ながら、いかんせん臆病なため、オロチ復活後の妖怪騒ぎにも慌てふためくだけである。アマテラスに、神州平原で悪さを働く妖怪の手配書を託す。

五十三

炎の花火師
タマヤ

十六夜の祠の近くに住む花火職人。毎年、神木村で行われる十五夜の祭りには趣向を凝らした花火玉を打ち上げようと、研究に情熱を注ぐ。しかし性格はおおざっぱで、祭りが終わると抜け殻のようになってしまう。

五十一

アガタの森

ネムリ

各地で目撃されている大きな熊。特に何をするでもなく、葉っぱを頭に載せて年中居眠りを続けている。玉の上に立ったまま眠るのが大好きなようで、新しい玉を見付けると飛び移り、即座にいびきをかき始める。

三十八

天下の牙商人
キバメ

妖怪牙を持っている者に貴重な品々との交換を持ちかける。今風にいうとマニアなトレーダー。キバメがいうには、妖怪牙は貴族の間で密かなブームとなっており、高値で売れるらしい。大量の妖怪牙を差し出せば、国宝級の品と交換してもらえらるだろう。



ト骨使い
ぼくせんババ

アガタの森の洞窟で、ひっそり暮らしている謎の老婆。遠むべき道を見失った者には、得意のト骨術で未来を指し示してくれる。ぼくせんババの洞窟はアガタの森だけでなく、全国各地へつながっており、いつどこで迷っても頼りにできる存在である。

三十八



陰陽師
ウシワカ

十六夜の祠の封印を監視する謎の青年。陰陽師を自称し、清らかな笛の音とともに現れてはアマテラスを挑発する。その正体は、妖怪を封じていた箱舟やマトを、天界タカマガハラと地上へもたらした月の民。自責の念に駆られ、アマテラスとともに戦った過去を持つ。

⑥ 十三、十七

④ 十九、二十三、二十四

⑥ 三六



ウシワカ

森の子
コカリ

アガタの森に暮らす少年。心優しい性格だが、父のような度胸がないことに悩んでいた。しかしアマテラスの助力と、愛犬・梅太郎の命をかけた激励のおかげで、立派な釣り人になろうと決意、釣り修行の旅に出る。その半には、糸も針も無いままではあるが……。

コカリの父
カリウド

アガタの森の猟師。狩りだけでなく魚釣りも得意で、息子のコカリもたくましい男になってほしいと願っている。コカリに自信を付けさせようと、両島原へ続く橋の修繕を命じる。

仁狗

梅太郎（八犬士 仁狗）

コカリの無二の親友。もともとは風神宮を守る里見八犬士「仁狗」なのだが、コカリに命を救われた恩に報いるため、片時も離れない。コカリのためならば、女郎蜘蛛の体内に取り込まれようが、沼の主の豊頭に呑み込まれようが、ひるまない勇敢な犬。

アガタの森

弓神

月光

おお...
我らが慈母アマテラス大神
御許が隠れ給い我世を嘆き
水面の月に身を寄せ
怪魚の口腔の内にて
遙けき時を待ち侍りぬ
御許再びその威光
取り戻し給いたる今こそ
この弓神
世をあまねく覆う月夜をもって
御許の旅路を煌々と照らさん！

ツタ巻遺跡

葛ノ花神

おお…
我らが慈母 アマテラス大神
我は花三神 最後の一神
葛ノ花神にて候
遙けき昔に 御許の懐を 出でて
百余年
我今こそ 白雪に 咲き添いて
枯れたる 苦界を 潤わさん！

葛巻

土竜愚連隊
オオツチとコツチ

大モグラのオオツチをリーダーとして集まった愚連隊。高宮平を通りかかる者に因縁をつけ金子を巻き上げていたが、アマテラスに懲らしめられる。土中で暮らす寂しさに堪えきれず、だれかに構ってほしかっただけなのだが、モグラとしてはいかなものか？



戦慄！
舌切りジジ

恐怖！
舌切りババ

高宮平のはずれにひっそり暮らし、訪れる者があれば包丁で追い回す不気味な老夫婦。その正体は、捕らえた獲物なら動物であれ人であれ、鍋で煮て食らう恐ろしい烏天狗。残忍な性格ながら、自らを窮地に追い込むネタバレ発言をアマテラスに語って聞かせるあたり、ツメの甘さは否めない。

三十八、三十九



茶屋の主人

アガタの森から高宮平へ続く街道に茶屋を開く男。大事な商売道具であり、神州平原の陶芸家の逸品でもある湯のみを、オオツチ率いる土竜悪連隊に取られてしまい嘆いていた。



茶屋の客

クサナギ村へ向かう途中、タタリ場に道を閉ざされ、途中の茶屋で立ち往生していた男。アマテラスからクサナギ村名物の風車を手に入れ、妻への土産にする。



備後

高宮平を徘徊する男で、地中に眠るお宝を掘り出そうとしている。糸につるした勾玉で正確にお宝のありかを探し当てるが、アマテラスの協力無くして掘り出せない。



高宮平



クサナギ村・風神宮

風の村の
フセ姫

亡き夫の跡を継ぎ、風神宮の神官となった里見家の女性。オロチの復活で勢いを増した赤カブトの侵攻に困窮し、アマテラスに助力を乞う。ふだんは優しいが怒ると怖い。赤カブト討伐後、だらけ気味の八大士をビシビシ鍛えている。



地縛霊
ヤツフサ

風神宮の神官でフセ姫の夫。赤カブトに襲われて命を落とすが、最愛の妻を心配するあまり成仏できずに地縛霊となる。アマテラスの優しい心に女性の姿を感じる。強い法力の持ち主。

八犬士

里見家に仕え、伝来の宝玉を携える忠臣。八匹の犬であることから「八犬士」と呼ばれ、佛狗をリーダーとし、それぞれが忠義に厚く、勇ましい。しかし所詮は犬、散歩に出ると帰って来ない、腹が減るということを聞かないなど、フセ姫を困らせる毎日。

三十七



信狗

智狗

佛狗

礼狗

孝狗

風神宮

クサナギ村

風神

疾風

おお……
我らが慈母 アマテラス大神
御許影となり給いて
この風神闇路に惑いたるも
雲晴れて闇の現に光射したる今
我天駆ける風となりて
世を掻き暗す
あやかしどもを吹き被わん！





薄幸の佳人
ハルカ

親を殺した妖怪を追って旅を続ける美しい女性。仇と思い斬りかかった相手がただの枯れ木で、そのまま足を滑らし崖から転落、池にはまって溺れるなど、彼女を襲う不幸は際限がない。クサナギ村の宿屋で厠を覗かれたのが縁となり、仇討ちをイッスンに依頼する。

竹細工職人
竹取翁

クサナギ村で暮らす温厚な老人。彼の作る竹細工は出来が良く、客が全国からやって来るといふ。良質な竹を求めて笹部郷の竹林に出かけた際に、記憶を無くした幼いカグヤを拾い、子供のいない翁は深い愛情を注いで育てあげた。



風神宮

クサナギ村

笹部郷

大親分
ジャンバ太夫

笹部郷一帯を取り仕切る、スズメ組の大親分。寡黙ながらも男気は厚く、子分たちに慕われている。心の清らかな者だけが訪れる笹部郷で宿屋を営んでいるが、もとより訪れる人が少ないため赤字続き。ジュン！

竹林に咲く一輪の花
チエンジャク

ジャンバ太夫の愛娘。ひとりで笹部郷を出たところを舌切りジに捕まり、鍋料理にされそうになるが、アマテラスに救われる。はじめはイッスンに憎まれ口を叩くが、その後の活躍を聞くにつれ、憧れるようになる。

スズメ組子分

ジャンバ太夫に惚れ込みスズメ組に入った、中堅どころのヤクザ者。ジャンバ太夫の放つ一言から、その真意を汲み取る鋭い洞察力を持つ。妖怪を退治して回るアマテラスを「白毛布のダンナ」と慕ってやまない。

ジャンバ太夫

チエンジャク

子分

子分

温泉番

宿の名物である温泉の管理を任せられた、スズメ組の若い衆。温泉にかける情熱はだれにも負けず、その血潮は源泉の湯のごとく煮えたぎっている。温泉が枯れた際、手にした松明で自ら焼き鳥になろうとするなど、明確なホケが魅力の好青年である。

6 42



ほき虫
タイジャン

ジャンバ太夫の息子。姉のチユンジャクから甘やかされて育ったため、かなりワガママ。スズメ組の子分たちは、タイジャンの聞かん坊ぶりに頭を悩ませている。

竹ノ介(八犬士 義狗)

タイジャンが可愛がっている犬で、実は里見家の八犬士。妖怪に襲われそうになっていた笹部郷を守るため、風神宮に戻らずに孤軍奮闘していた。スズメ組の子分いわく、タイジャンと同じく、かなりの聞かん坊。

6 37



義狗

笹部郷



濡神

水郷

おお...
我らが慈母 アマテラス大神
御許がお隠れ給いし際は
水面に主を偲び袖を潤したるも
日の気色 蘇りたるとあらは
この濡神
いざ地に萌ゆる 緑に
命の潤いを与えん！



十六夜の祠

燃神



紅蓮

おほ...
我らが慈母 アマテラス大神
禍々しき祠にて
物の怪に力を封ぜられしより
遙けき時が過ぎ行くも
我御許を偲ばさる事はなし
御許の通力にて
我が呪縛 破れたる今
この燃神
激しく燃え立つ 烈火となりて
世を覆う 暗雲を 焼き破らん！

運び台の天邪鬼

料理長
味美

ヤマタノオロチの食事を一手に任された妖怪。大鍋に落ちて煮込まれていたところをアマテラスに助けられる。料理へのこだわりは半端ではなく、オロチに供する究極の前菜料理を完成させるためには、妖怪たちの体さえも食材にしてしまう。

動脈部ともいえる運び台。操縦は天邪鬼たちが交代で担当するが、多くの天邪鬼が順番が来るのを心待ちにするほどの人気ポジション。取っ手から手を離すと落下するスリルが、彼らを魅了してやまない。

天邪鬼の行商人

妖怪が根城にする場所で店を開く妖怪商人。他の天邪鬼と同様、どこか抜けている性格だが、商売に関してはキツチリしており、扱う商品の価格レートは人間界のものとは寸分たがわない。



關所・兩島原

当たり前
ヨイチ

都随一の弓の名手。都と高宮平を結ぶ
關所前の大跳ね橋が突如跳ね上げられ、
やることもなく相棒の強弓「金丸」で
弓の練習に明け暮れる。橋は元通りに
なったが、ヨイチは都に戻らず、弓の
修行に旅立った。この後に兩島原北、
カムイで出会うことになる。

番地(まっしぐら)の
ハヤテ

兩島原と都の間を足でつ
なく爆走野郎。文の字が
染められた前掛けが、日
焼けと潮焼けした小麦色
の肌によく合っている。
コイツと走りの勝負をし
たときは要注意。真後ろ
から追いかけると、痛い
目に遭う。

漁師

兩島原北の島にいる漁師。水
龍のおかげで不漁続きだが、
いっばつドデカイ魚を釣り上
げると、ウミネコ亭で素晴ら
しいことが起きる。

動物好きの男

兩島原の浜辺で、何やら物憂げに考え
込んでいる。大事に飼っていた「イナ
バ」がいなくなったという。彼の悩み
を解決するには、イナバの意味にシロ
クロをつけなければならぬ。



花守人
花咲爺

桜を守る人、それが花咲爺。謎の霧のせいで西安京の桜は枯れ果ててしまったが、霧が晴れた今なら、花名人直伝の絶技「椿神楽」で桜に花を咲かせることができる。アマトラスも、この「椿神楽」に一目惚れすることになる。

三十二

呉服屋
流行衛門

西安京で呉服屋を営むが、染め師が染めた反物を売るだけでなく、常に斬新な着物の図案を考えている。現代のファッションデザイナーのバイオニアともいえる。だが、図案に熱中し過ぎも困りもの、女将の扇婆は店の売上げが落ちたと愚痴る。



親方に憧れる男

親方ナグリののもとへ水路工事に行く途中で病に倒れるも、親方の弟子になりたいという熱い想いを心に秘めている。いざ、親方に会って弟子入りを直訴すると、厳しい修行に耐えられたら弟子にしてやうあ、というお言葉を頂く。お後は彼の頑張りしだい。

宮大工
ナグリ

頑固一徹、仕事の鬼。西安京の枯れた水路を元通りにするには、地下深く穴を掘り、閉じてしまった美輪湖のヘソをほじくり返すことだとナグリは話す。さすがに西安京のすべての建物を建てただけあり、都のことは隅から隅まで把握している。



素浪人
真澄

武者修行で全国行脚の旅をしている
剣士。ワケありでどうしても退治し
なければならぬ妖怪がいて、その
目録「斬る目録」を持っている。妖
怪をすべて退治したときに、剣士と
しての極みに立てると信じている。
大酒呑みが唯一の欠点。

炎の料理人
ヤマネコ

西安京唯一の食事処「ヤマネコ亭」主人。「食は万事の
基本。健やかな生活は食事から！」がモットー。ある伝
説の食材を使った夢の料理を研究中だが、肝心の食材が
手に入らない……。その絶頂の料理「釜飯大噴火！」創
作のために、大かまどと大釜をあつらえたばかり。

桜子とおっ父

病に伏せる父親のことを心配してい
る純情可憐な娘、桜子。一時は、京
を覆う霧のせいだと思っていたが、
霧が晴れても父親の病状は改善しな
い。舶来の薬「香草調合薬 神粉」
があれば……と嘆くが、いかにせん
庶民に手が届く値段ではない。

西安京 庶民街

四十五

都の男

都の霧が晴れ、心も体も快調だと語るが、夜にヤマネコ亭に行ってみると、「俺の人生は霧の中だ」とくだをまいていく。どうやら想い人の菊ちゃんへの贈り物「菊のカンザシ」をスラれたらしい。



女の子三人組

ナグリの家の前で遊んでいる三人組。お陰描き女の子の絵は、呉服屋で図案を考えたと変わっていく。流行に敏感な少女だ。

十六、十七



カモノ隊員

アベノ隊員

人知れず西安京庶民街の上空に悠然と浮かぶ、女王ヒミコ直属の特殊情報隊本部。隊長は、イッスンからインチキ子野郎呼ばわりされているウシワカ。二人は陰陽師特捜隊、略して陰特隊の隊員。アベノ隊員には人はいえない悩みがあるようだ。



バリバリ幽霊
三太



柳の下の幽霊。呉服屋の斜め前にある柳の木の下には、夜な夜なサンダーな幽霊が現れる。どうやら雷に打たれて死んだらしい。フワフワしているだけの刺激の無い毎日に飽きてきて、あり余った力をバリバリと使いたいという。

桃太郎



「一日一個」のノボリを立てて庶民街を練り歩く名物少年。鬼ヶ島から来る鬼を退治する、勇者ごっこをしているが、家来はだれひとりいない。それもそのはず、おばあちゃんに作ってもらった「きび団子」をだれかとぶつかったときに落としてしまったのだ。

舶来かぶれの侍

どこことなく西洋を想わせる服を身にまとった侍。この侍は悪名高いスリの情報を与えてくれる。よくよく話を聞くと、この侍もスリの餌食になり、大切な「ビイドロの時計」をスラれたらしい。

スリしらべの
早蔵

あまりの早業に、だれひとりとして捕まえることができない「幻のスリ」と恐れられている。産婆のサイフをスツてから、一日一スリを欠かさない筋金入り。分身の術を身に付けている。ゲツシツシツシ!



西安京 貴族街

西安京女王
ヒミコ

妖怪どもの牙城、神出鬼没の鬼ヶ島
の行方を突き止めるために、祈
禱を続ける女王。悠久の太古より
西安京を治めてきたヤマタイ一族
の秘宝「千里水晶」は、いかなる
未来も教えてくれる。西安京の未
来は、ヒミコの未来は、どのよう
に映っているのか……

三十八、四十

ヒミコの侍女

古くからヒミコに付き従う、聡明な女性。主の命に忠実
で、館を訪れたアマテラスを丁寧に招き入れ、ヒミコに
危険が迫れば、身を呈して守ろうとする。ヒミコ亡き後
は、主の魂を鎮めるため、その墓を見守り続ける。

ヒミコ親衛隊

ヒミコの神殿の門前を警護する二人。ヒミコの親衛隊だ
けあって精悍な顔付きをしていて、どんな妖怪にも惑わ
されないと言語する。

尼僧
ツツラオ

銘刻寺の住職であるツツラオは、ヒミコの命で西安京の摂政を務める。妖魔の軍勢に立ち向かうために強力な神器「キツネ管」を宝物船から探し出してほしいと、アマテラスに懇願する。ポインの裏に隠された、ツツラオの真意はいかに……。

26 二十四



化け九十九尾

敵は近くにあり。ツツラオはすでに妖魔王の手によって殺されていた。ツツラオに化けた妖魔王は、遂にはヒミコの命をも奪ったのである。

放浪の破戒僧
ベンケイ

名だたる剣豪と腕比べをしながら諸國行脚をし、九九九本の刀を手中に収める。西安京の美輪湖に生きた刀が眠っているという噂を聞いて駆け付けた。しかし、竿が無く、立ち尽くすベンケイ。禪の「竿」の一字がりりしい。



阿国

貴族街の女の子。おばあちゃんに教わった「水龍の唄」を唄う。貴族の屋敷にいたこともあり、貴族の男女の子供であるようだ。



カラクリ発明家
ゲンナイ

貴族街にそびえ立つ五重塔の最上階に住む、西安京、いやナカツクニ一番の発明家。カラクリ大橋もゲンナイ作である。現在、住民の暮らしが飛躍的に向上する新たな発明に取りかかっているが、最後の部品が足りないらしい。



貴族の男

貴族の女

ツツラオがいる建物に近い屋敷に住んでいる夫婦。男は大好きのようなだが、女のほうはあからさまに毛嫌いしている。



宝帝の屋敷

月光美人
カゲヤ

宝帝の屋敷内にある牢屋に捕らわれている絶世の美女。しかし、自分は何者で、どこから来たのか記憶が無い。竹林に倒れていたところを竹取翁に助けられ、本当の孫のように愛を注がれて育てられた。悩めるカゲヤに、運命の転機が訪れようとしている。



宝帝

ヒミコの前に西安京を治めていた前帝。エキビヨウに体内に入られ、都に毒霧を撒き散らしていたが、それも妖怪のなせる業。真の宝帝は、温厚で心優しい性格。妖怪牙を収集する趣味を持っている。



衛兵

宝帝邸を警護する衛兵たち。上の二人は邸内を警護。下の二人は門衛だ。彼らは帝の体を案じているが、都の霧と帝の関係を怪しんでいるふしがある。



幽神ヨミガミ

霧隠

おお...
我らが慈母 アマテラス大神
我御許より 離れし後
魔より逃れんと 國中を彷徨いたるが
この邪なる瓢箪に 捕らえられ
ここに 眠り侍りぬ
御許の御力にて
我が封印 解かれし今
この 幽神 甘美なる 雲霧を以て
御許の御前を 妖しく彩らん！

北原島西

壁神

壁足



おお……
我らが慈母アマテラス大神
邪気渦巻く塵界を憂い
我 天空を望む この塔に身を寄せ
遙か下の世界を見下ろし侍りぬ
再び我が力必要とあらば
この壁神
御前に天駆ける希望の橋を
架け奉らん！

壁神

龍宮の使者
シャチ丸

水龍よりも泳ぎの速さは勝ると豪語する、海原の超特急シャチ丸。龍宮に迎える資格がある者が来ると、明け方に姿を現す。しかし、龍宮の入口である海鳴門を探し出すことが、龍宮に行ける条件だ。

6 三 四十一



漁師
ウラシマ

両島原北で漁師を営む。気弱な面があり、いじめっ子三人組に、いつも浜辺でいじめられている。一度眠ると半端なことでは起きないが、それが短所でもあり長所でもある。

ウラシマ爺

ウラシマ婆

子供のころに海で溺れていたところを、シャチ丸に助けられて龍宮に行ったウラシマ。それ以来歳を取らなくなったが、ある物を龍宮から持ち帰ると止まっていた時間のもとに戻る。実は、この二人は夫婦だったのだ。



天望岬の男

昔々、神々がここから天に帰ったとされる天望岬。岬に立ち望遠鏡を片手に空を眺めている男は、流れ星に願いをかけたことがあるらしい。流れ星がデザインされた服が印象的。

ウミネコ

旋風(つむじかぜ)の料理人

ウミネコ亭は新鮮な魚料理が自慢の店。しかし、水龍が暴れ回っているために新鮮な魚が手に入らないようで、天才料理人を自称する亭主は欲求不満が募る。新鮮な大魚を手に入れることができるのか。

いじめっ子三人組

浜辺でウラシマをいじめている三人組。ウラシマがシャチ丸に乗って龍宮へ行っただという話を聞いて、そのシャチ丸を見せてみるとウラシマを責め立てる。しかし、シャチ丸を目にしてからは、ウラシマに対して尊敬の眼差しを向けるようになる。

龍宮



龍神族の長
オトヒメ

龍王ワタツミの妻。オトヒメは、暴龍と化した水龍とはいえ、神である水龍を操ることは不可能だという。しかし、水龍の力を借りる術はまだ残っているらしい。それは、唯一無二の秘宝「龍玉」を手に入れること。それには多大な危険が伴うが……

踊り子

龍宮内の枯れた泉を蘇らせるために選ばれた、四人の踊り子たち。だが、泉を復活させるには荒療治が必要だった。ふくよかな女性がリーダーのようなのだ。





水龍

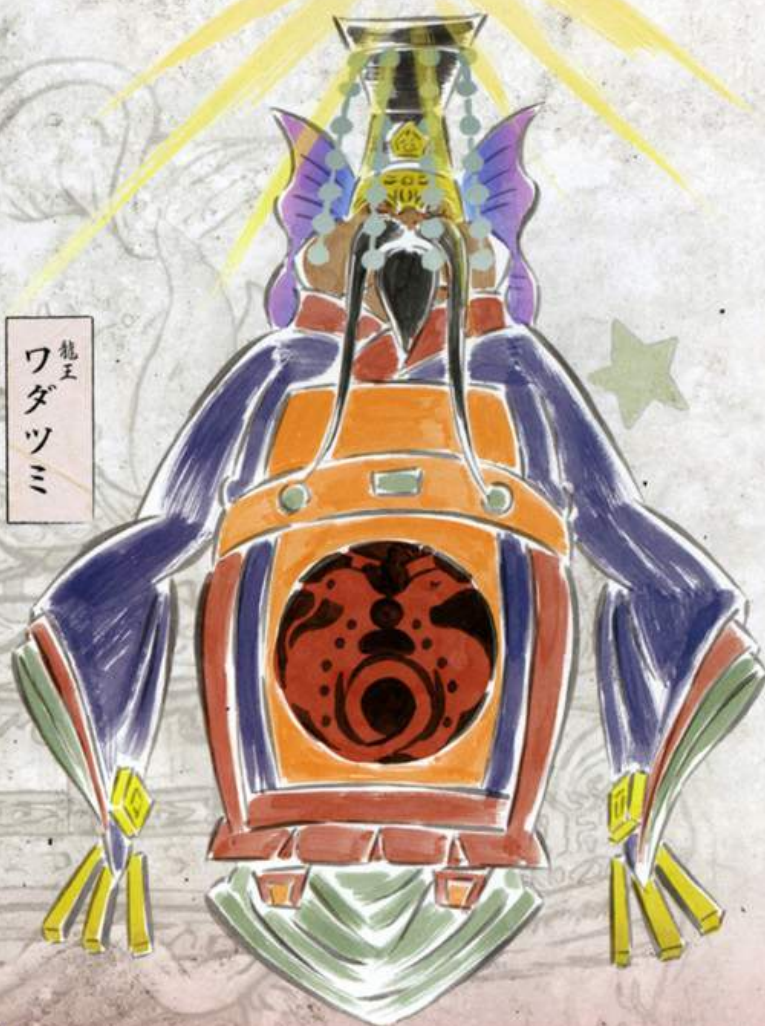
一カ月前、突然現れた鬼ヶ島、押し寄せて来た妖魔に龍宮軍は成す術もなかった。そこに水龍が姿を現し妖魔軍を蹴散らしたが、妖魔軍の首領である妖魔王の前では赤子同然に扱われる。深手を負った水龍は、自我を失って狂える暴龍と化した。

16 三 二十五、四十八、四十九



亀婆

龍宮の宝物庫を守る番人。ナカツクニの行商人と同じように、買い物をする事ができる。



龍王
ワダツミ

実は、水龍とは第二十七代龍神族族長 龍王ワダツミの化身だった。理由はどうであれ、多くの民をあやめたことを悔い、ワダツミは両島原の海深くに沈んでいった。

龍宮

鬼ヶ島

撃神

迅雷

おお：
我らが慈母 アマテラス大神
妖怪どもが 跋扈したる
この城に 封じられし 我が身なれど
御許の通力で 我が目 ようやく
光を宿す事 かないぬ
御許と共に 修羅の道歩むとあらば
この撃神
迸る雷の力を以って
主の御前に 一条の光を 捧げ奉らん！



オキクルミ

オイナ族の戦士
オキクルミ

カムイを見守る神の双山エソフジが、双子の魔神に乗っ取られた。正義感の強いオキクルミは、愛すべきカムイと仲間を守るために、カムイの國の守り神「宝剣クトネシリカ」を無断で持ち出す。救世の予言によれば、宝剣が青鈍（あおにび）色の光を宿せば、天への道は拓かれるという。数多くのケムラム（妖怪）を倒したが、一向に宝剣に光は宿らない。宝剣が欲していたものとは――

悩める青年
ワリウネクル

ワリウネクルは一年前まで住んでいたウエベケレで、村長の目を盗んで「宝剣クトネシリカ」にほんのちよつぱり触ったらしい。それから彼の身に悲劇が……。殺し屋妖怪たちを狙われているとおびえ、アマテラスに「妖怪図録」を預ける。

ウエペケレ

オイナ族の娘
カイボク

魔神の魔力によって、氷漬けにされそうなカムイを心底案じている。村を飛び出したオキクルミの良き理解者。イッスンとは顔見知り。妹のピリカを捜すために、あやかしの森ヨシベタイの道案内を買って出る。

ピリカ

カイボクの妹。双魔神が暴れたした翌日に行方不明になった。ケムシリ爺を凌ぐほどの霊力を身に付けているピリカは、魔神によって消し去らねばならない存在だった。

ウエペケレ長老
ケムシリ爺

ウエペケレの前村長であり長老。双魔神との戦いで傷付き、村長をサマイクルに譲る。これまで祈禱の儀式「山興し」で、エゾフジを噴火させ魔神たちを鎮めていたが、寄る年波でその力も衰えてきた。

オйна族戦士
サマイクル

オйна族随一の戦士であり、ウエベケレの現村長。村長として村に残り、一族を守らなければならない。しかし、戦士の血はケムラムと戦いたいと叫ぶ。宝剣を盗み、村から出て行ったオキクルミは許せないが、オキクルミの心情を一番理解している。

オйна族祈禱師
トウスクル

イリワク神殿入口にあたるアウンバの大門横の祈禱所で、危機を迎えたカムイのために祈り続けている祈禱師。あやかしの森に入るアマテラスたちに、オйнаのお守りセワボロ口を授ける。



カワウソ面の男の子

カムイの危機だというのに、「雪玉ころがし遊び場」で遊んでいる。「ほらほら、雪玉をどんどん大きくしておくれ！」とせがまれるが……。どうする、アマテラス!!



ウエベケレ

ポンコタン

自称伝説の剣士
イツシヤク

第六代 天道太子。コロボツクル一族の長。百年前に比べ、神に対する人々の信仰心が薄れたことを嘆く。闇の到来を察知した一族は、イツシヤクのもとで神の威光を天下に伝えるために、絵師としての修行を続けている。「人々に信仰心が蘇れば、お主は必ず全盛の力を取り戻し、闇の者の力を打ち砕けるわい！」とアマテラスを勇気付ける。

イツシヤクの側近

イツシヤクの家を警護する二人。動物の言葉がわかる側近たちにも、アマテラスの顔の中は読めないらしい。



白野威

百年前にイツシヤクとヤマタノオロチを退治した白野威。その威光は、イツシヤクの家にかけられている掛け軸に残る。現存する白野威を描いた絵はこれ一枚である。もちろんイツシヤク画。



落款職人
イツカン婆

落款作りの名人。イツシヤクからはアマテラスはとうの昔に死んでしまったと聞かされていたらしいが、このイツカン婆は、ひと目でいい当てる。百年ぶりの大仕事のアマテラスの落款作りになる。



コロボツクルの
ミヤビ

キアゲハチヨウの帽子をかぶっているコロボツクルの女の子。イツスンの効馴染で、イツスンが第七代天道太子になり、ボンコタンに帰って来ることを夢見ている。ヒリカの重要な情報を知っている。



道具屋
ゲンゴロウ

ボンコタンで道具屋を開いている。森で落し物を集めるのが趣味。面白い物ごとというわりには、きっちりお金を取られる。



ボンコタン

神木村 百年前

イザナミ

イザナギの祖先で、同じように酒造りをしてい
る。百年前の満月の夜に、ヤマタノオロチの生
贅として召し取られた。オロチ退治のために鍛
錬したイザナギを心から信頼している。

古今無双の大剣士
イザナギ

スサノオの祖先も、やはりグウタ
ラ者。しかし、背中には伝説の剣
「月呼」を担ぎ、オロチ退治のた
めに鍛錬していただけであり、スサ
ノオよりも頼もしさがある。

イザナギ

長老
ハツサク爺

ハツサク婆

ミカン爺とミカン婆の先祖。百年前の神木村の平和を願い、希望の苗木であるコノハナさまを丹精込めて育てている。



苗木の精霊
シャクヤ

コノハナさまの苗木の精霊、シャクヤ。サクヤ姫の幼きころの姿。百年後に、小さな苗木は立派な神木になる。



四九

神木村百年前



シヤクヤク

ボタン

百年前の満月の夜、コノハナの苗木の前に立つ二人はサザンカとツバキの祖先。ここから彼女たちの長い旅が始まる。



ナゾカイの母ちゃん

ナゾカイ

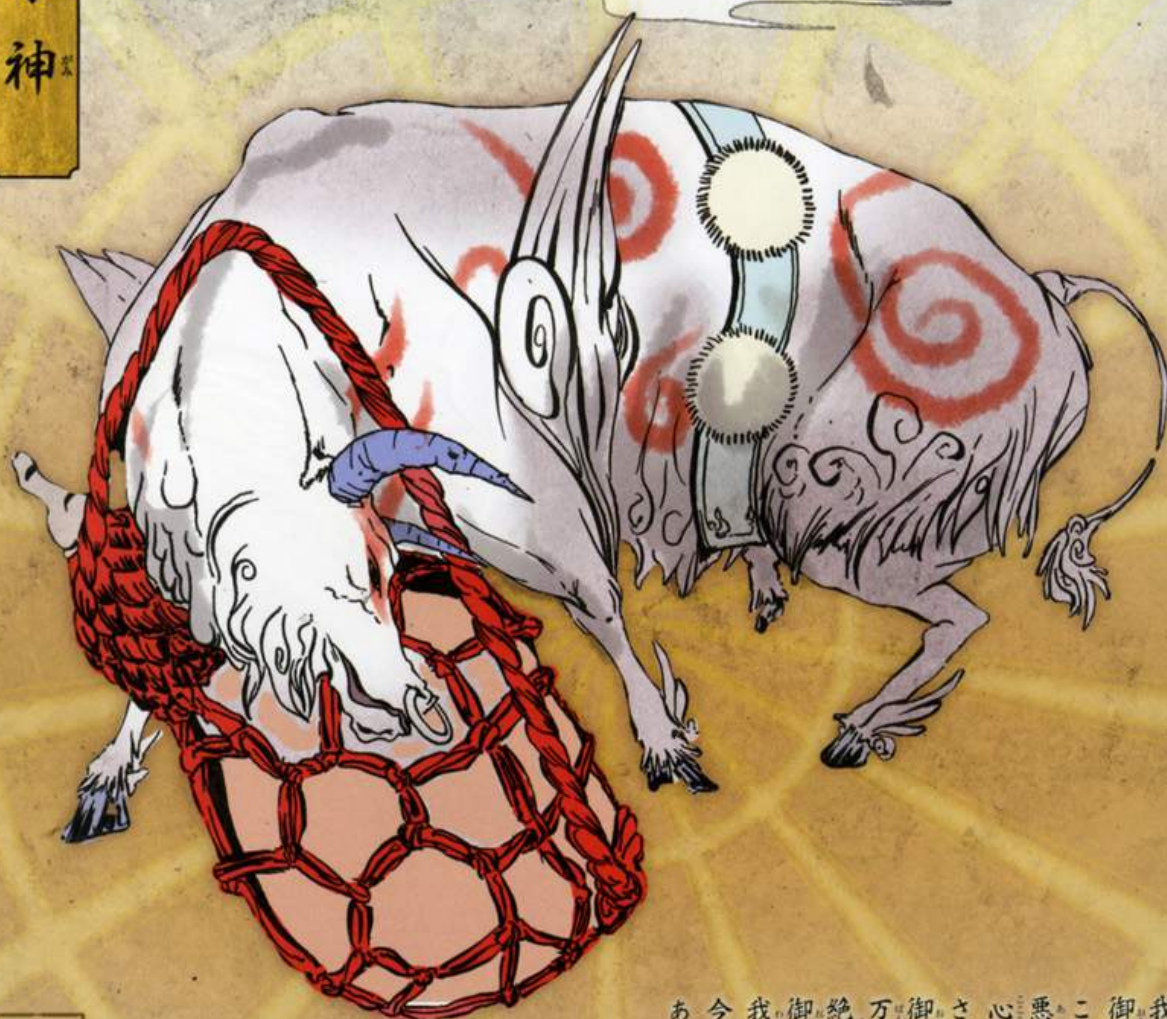
ナゾカイの犬

ムシカイ一家の祖先。UFOを従えたナゾカイも、ナゾカイの母ちゃんもかなり凶暴。近づいてホイッとしていると、白野威に間違われて殴り飛ばされてしまう。



イゾナジ

凍神



吹雪

おお……
我らが慈母 アマテラス大神
御許が果敢なくなり給いし 時より
この霊峰に身を寄せつるを
悪しき者に捕らえられ
心ならずも 下界を汚したりけり
ささめ雪降り積もる程の 時を経て
御許と再び邂逅したる この凍神
万物を永久に凍らせる
絶対零度の世界を 御前に捧げ奉らん
御許より 転び出でし
我等 十三の分神
今一度 御許のもとに 集い
あらゆる悪を 祓う力を 授けん！

箱舟ヤマト



天神族

だれも知らない神話の時代に、天にあるタカマガハラには天神族が住んでいた。闇が迫るタカマガハラから、月の民が造った鉄の箱舟に乗り、天神族は下界へ降りて来た。しかし、箱舟にはすでに無数の妖怪が潜み、天神族たちは全員食い殺されてしまったのだ。ヤマトが復活したときに、靈魂として残っていたのがこの四人である。

妖怪伝承図繪

うばたまの黒すみがかよとき
闇夜より

身の毛よだつ物の怪現れぬ
我が名は天道太子一寸

白銀の狼ともん

旅立ちたるに

襲ひ来たる物の怪どもを

ここに絵かき

したたむるものなり

夜な夜なみだりに

見るべからず

襲わるること必定なり

ゆめゆめ人に

語るべからず

呪はるること疑いも無し

今宵も物の怪襲ひ来たりて

我らが行き方阻まむとす

あなおそろしやおそろしや

天道太子一寸





緑天邪鬼

みどりあまのじやく
 気のよどむ場所に潜んで
 いるといわれる低俗な悪鬼。
 笛を吹き踊る姿は陽気で、
 遣った者を金縛りする程
 度の悪戯しかないが、病
 をもたらすこともあると
 伝えられている。



赤天邪鬼

あかあまのじやく
 月の見事な夜に、琵琶を奏
 でて踊り狂う悪鬼。無類の
 酒好きで、その肌はいつも
 朱色に火照っている。緑天
 邪鬼よりも高位な妖怪だが、
 琵琶の弦を切ると姿を消
 してしまう。

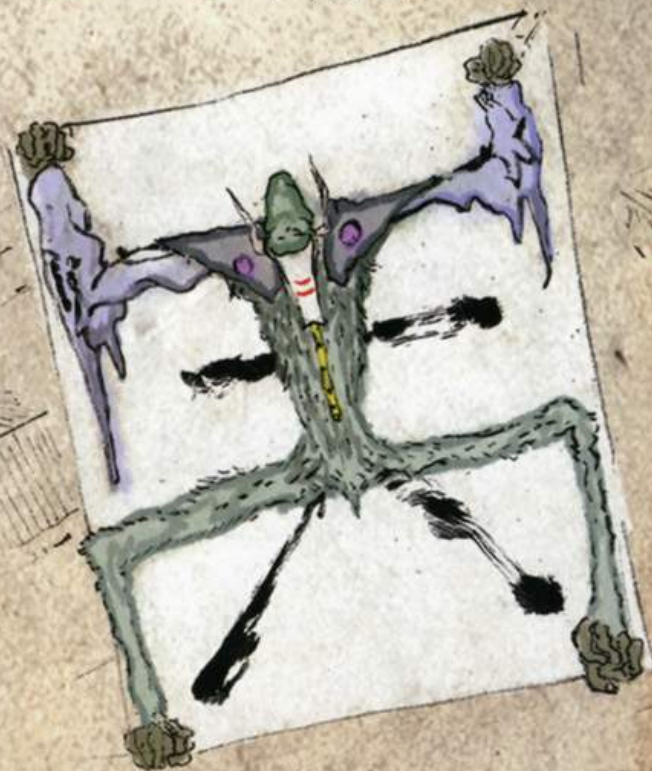




黄天邪鬼

きあまのじやく

深夜、床についた人を地の底から太鼓を鳴らして驚かせる天邪鬼。その姿は明るい土色をしており、原因のわからない病は、この黄天邪鬼のせいだとされている。



青天邪鬼

あおあまのじやく

人気の無い場所ですら、音や音を聞くのは空耳。だが、頭上から罵り声が聞こえたら、それは青天邪鬼の悪戯である。大きな風を背負い、空中から罵詈雑言や汚物を降らせるのだ。



黒天邪鬼

くろあまのじやく

最も位の高い「天邪鬼」といわれる漆黒の悪鬼で、これまであやめた人の禍々を身にまとう。その姿を見ることはおろか、触にしたらだけでも害をなすと恐れられている。



光背地藏

こうはいじぞう

光を背に宙に現れる地藏の妖怪。信心深い者はまばゆいばかりの光明にひれ伏すが、よく見ると地藏の首が無い。信仰があついと、この光背地藏の餌食となるだろう。

首無し地藏

くびなし

じぞう

ならず者のいたずらで首を落とされた地藏に妖気が宿り、物の怪となった。無くした首を求めて人家の戸を叩いては「首返せ、返さぬのなら、そつ首引っこ抜くぞ」とわめくという。



首刈り地蔵 くびか じぞう

地蔵の首を身にまとい、それを投げ付けて人を襲う妖怪。地蔵の姿をした物の怪の中では、最も恐ろしいとされている。首を法力で跳ね返した空貝和尚の逸話は有名である。



捨鐘地蔵 すてがねじぞう

鐘の音が気に食わぬと因縁をつけられ、首を斬られた僧の無念が宿った地蔵。地の底から寺の鐘が聞こえたら、それは捨鐘地蔵が道行く人の首を狙っているのだ。



なまはげ

雪国に現れる鬼の形相をした妖怪。荒々しい声を出し、働き者を探し回る。なまはげに遭遇したら、ぐうたら者のふりをすればいい。なまはげは自分の仲間と勘違いするだろう。



出刃なまはげ

なまはげの仲間で、大きな出刃包丁を手に、働き者を探して暴れ回る妖怪。恐ろしい顔立ちに似合わない、出刃を取り上げてしまえば改心するとも伝えられている。



唐傘なまはげ

雪が吹きすさぶ夜に、唐傘を手
に宙を舞い、働き者を襲う。襲わ
れた者が「こんな風の強い夜に
飛ぶとは、なんという働き者か」
と称えられ、困り果てて姿を消
すと伝えられる。



桶なまはげ

降り積もった雪の中に潜み、
通りがかった働き者を桶の
中に閉じ込める妖怪。かし
わ手を打ち、潜むなまはげ
をひとまたきすれば、なま
はげは働き者を見失い、帰っ
てしまう。



号砲なまはげ

なまはげの中でも一風変わった妖
怪。小事にこだわりのついでに
よくよするような者の前に現れて
は、「小心者には喝を入れてやるぞ」
と怒号を浴びせて驚かせる。





埴輪戦士

はにわせんし
亡くなった主君のために
無理やり殉死させられた
戦士の怨念が、埋葬された
埴輪に宿った。跳ね回る埴
輪を打ち碎けば、その霊は
解き放たれ、安らかに眠れ
るであろう。



埴輪武者

はにわむしや
戦いに身を焦がした武者
の霊が埴輪に乗り移った姿。
死してなお戦う姿は哀れ
の一言に尽きる。戦いの定
めに終止符を打ち成仏さ
せるには、手にした武器を
壊してやることだ。

埴輪鼓舞

はにわこぶ

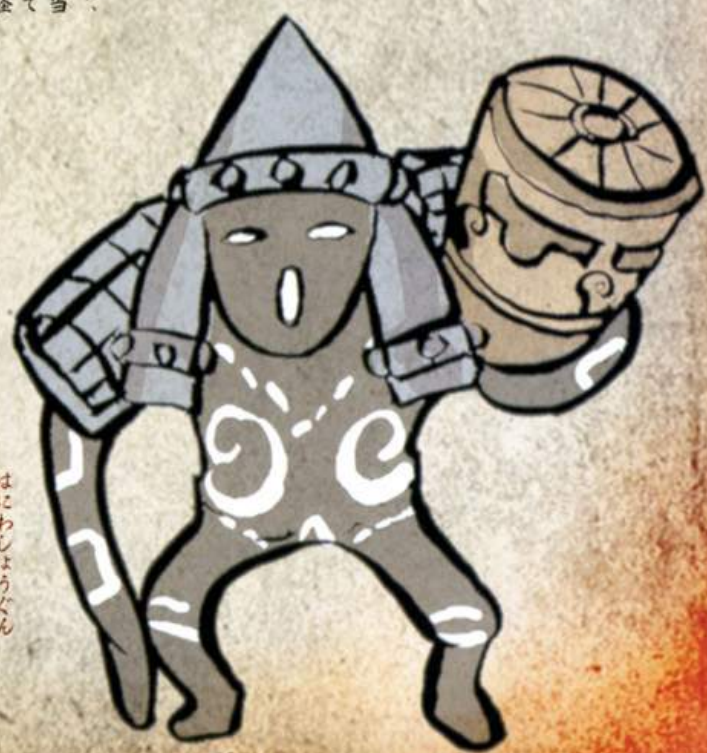
塚に埋葬されていた埴輪がオロチの放つ闇の波動を受けて、人を襲う物の怪となる。地中を動き回って見る者を惑わせるが、もともと埴輪なので、打ち壊せば破うことができる。



埴輪大風

はにわおおだこ

オロチの妖気が風に乗る、広まっていく。その風に当たり続けた埴輪が、やがて大風で宙を舞う埴輪妖怪になった。妖気の宿った光の球を放つては、下を歩く人に襲いかかる。



埴輪将軍

はにわしょうぐん

勇将の魂がオロチの妖力により埴輪に宿った。威厳に満ちていた生前の面影は消え去ってしまったが、埴輪の頭に部下が宿っている様は大勢の兵を従えていた往時を彷彿させる。



鬼灯
ほおずき

妖氣にさらされた鬼灯が物の怪と化したもの。氣付かずに通りがかった旅人の前に突然現れ、実を飛ばして襲いかかるという。

鵺
めえ

茶釜の中に潜み、人をあざむく妖怪。人の邪の心が茶釜に憑いたともいわれる。悪事を働いた後は茶釜の中に身を隠してしまふため、その姿を見ることは難しい。

雪童子
ゆきどうじ

吹雪の中に置き忘れられたわらわに妖氣が宿り、物の怪と化した。体にしつらえたかまぐらには暖が無く、雪山で道に迷った旅人を招き入れては、凍死させてしまうという。





骸金魚

むくろきんぎょ

あの世に逝くための衣をまとい、海に身投げした女性の霊が妖怪となり、夜な夜な浜辺をさまよう。その姿は巨大な金魚のようだが、背中の大きなヒレを使って自在に空を舞う。



姑獲鳥

うぶめ

侍に斬り殺された女性の無念が、鳥に憑いたといわれる妖怪。腕に覚えのある侍が挑んでも、その太刀は唐傘でひらりとかわされ、姑獲鳥の妖刀で返り討ちに遭ってしまう。

烏天狗

からすてんぐ

剣術を極める前に死んだ者の怨念が、鳥に宿り妖怪と化した。宙に放った扇子を一刀で斬り払う居合の技は相当なもので、それ以上の力量を披露しなければ逃れることは出来ない。

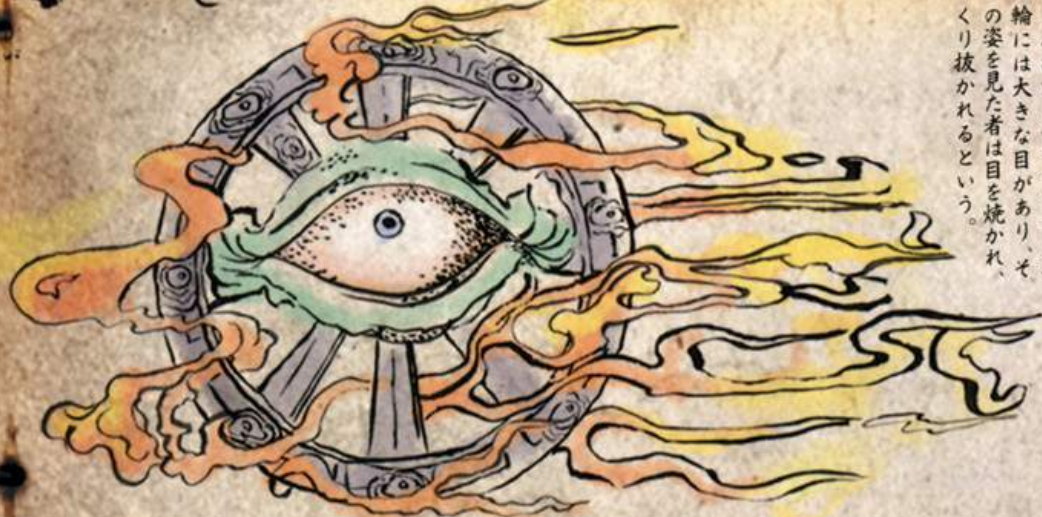


輸入道系

朱目輸入道

あけめわにゆうどう

深夜ごうごうと不気味な音が聞こえたら、朱目輸入道が近付いているのかもしれない。炎をまとった車輪には大きな目があり、その姿を見た者は目を焼かれ、くり抜かれるという。



氷唇輸入道

ひょうしんわにゆうどう

冷たい言葉ばかりを口にすると女性が牛車に轢かれ、怨念となった妖怪。異形に驚いても、決して声を上げてはいけない。口を開こうものなら、一瞬で凍死してしまうからだ。



雷耳輸入道

らいじわにゆうどう

他人の忠告にまったく耳を貸さない自我の強い者が、妖怪となり果てた。死してなお忠告を受け入れず、かけられた言葉はすべて雷鳴に変えてしまう。





天狗輪入道

てんぐわにゆうどう

通力で風を操る天狗が妖怪に変化した姿。突風を巻き起こしては、人だけではなく家までも吹き飛ばしてしまふ。誠うためには天狗をしのご通力を披露しなければならない。



烈火雲外鏡

れつかうんがいきよう

烈火のごとく怒り狂う者が、死してなお憤怒を忘れられず、愛用の鏡に魂を吸われて妖怪となった。鏡を覗いたときに怒りの形相が浮かんでいたら、この妖怪の仕業である。



冷艶雲外鏡

れいえんうんがいきよう

冷やかな美貌で一世を風靡した女役者が、いつまでも美しくありたいと念じるあまり、その念を鏡に吸われ妖怪と化す。鏡に映る美女を見た者は、その眼差しに命をも奪われる。

轟雷雲外鏡

舞台役者が長年愛用した鏡が付喪神となったが、妖しい雷に打たれて物の怪に変化した。下手な芝居をうつと現れて雷を落とすといわれるが、飄々と演じ続けられは去っていく。



陰風雲外鏡

鏡の顔を映した鏡の妖怪で、時間を浪費する者の前に現れては、突風で部屋中を滅茶苦茶にする。妖怪ではなく付喪神とする説もあり、怠け者を戒めるともいわれている。



鎌鼬

大きな鎌を携えた鼬の妖怪。三匹が連なり輪のようになって駆け回る。あまりのすばやさには人の目には捉えられず、つむじ風や吹雪、炎の渦のように見えることもある。



大天狗系



あおにゆうどう
青入道
山のような体躯をした坊主
頭の化け物。その肌は真っ
青で、キセルをくわえて空
を飛ぶという。いたずら心
でキセルの火を消すと怒り
出し、雷を落とすながら追
いかけて来る。



大天狗系



大天狗 だいてんぐ

山にこもった修験者が、気の
惑いから妖怪に身を墜
とした。その通力は相当な
もので、生半可な法術士で
はかなわない。水をかける
と、山での修行を思い出し
て隙を見せる。



一郎丸系

いちろうまる
一郎丸

巨大なサメの姿をした海の妖怪で、二郎丸と三郎丸がひとつになった姿。漁に出た舟を見付けるや海上へ跳ね上がり、その巨体で舟を押しつぶして沈めてしまうとの風聞がある。



じろうまる
二郎丸

親に結婚を反対され、海へ身を投げて心中した男女の片割れが怨霊となって現れた姿。一途な心は硬い甲羅となり、想い人である三郎丸を守ろうと、ウニを投げ付けてくる。

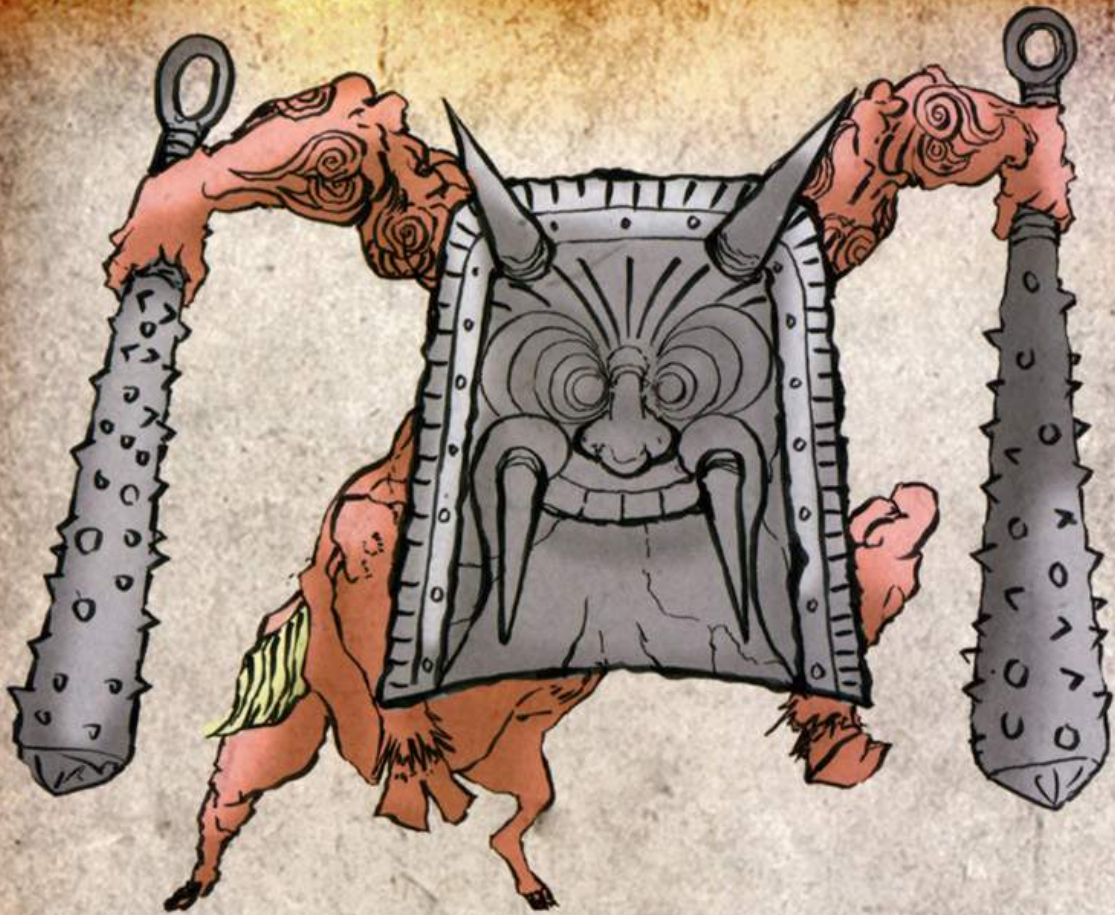


さぶろうまる
三郎丸

二郎丸とともに海に現れては、漁師を襲う妖怪。砂浜で穴を掘る姿も目撃されており、これは穴を掘って水が湧き出せば、二郎丸とひとつになれると信じているからだといわれる。



牛頭鬼系



赤鬼

あかおに

鉄の仮面をかぶり、
金棒を振るう鬼。燃
え盛る火のような赤
い色の体は、見る者
を怖がらせるが、仮
面を外されると恥ず
かしさのあまり顔を
さらに真っ赤にして
逃げ去っていく。



青鬼

あおおに

赤鬼とともに恐れられている妖怪
で、巨大な鎌を両手に携えて斬り
かかる。落雷に打たれた青鬼が、自
らの牙を差し出して降参したとい
う退治談が残されている。



牛頭鬼系



牛頭鬼

ごずき

地獄には堕ちてきた亡者を責めさいなむ「獄卒」なる鬼がいるが、その獄卒たちを統率するのが牛頭鬼。巨大な蜘蛛のようであるが、頭は牛の形をしている。



管ギツネ

くだ

飯綱とも呼ばれる狐の妖怪で、通力を持ち、使い魔として法術士が使役する。うまく使えば福を招くが、誤ると農作物を不作にし、疫病を撒き散らす災厄をもたらす。

狗系



蜘蛛系

袋貉
ふくろむじな

貉とは狸に似た穴熊の一種で、袋貉は人をたぶらかして財宝をかすめ取る妖怪だ。袋貉が潜む巣穴を見付ければ、至高の宝を手にとれるともいわれている。



人型系

守護土偶
しゅごどんぐう

月より現れたといわれる妖魔。かつて「蛮独」と呼ばれる守護土偶が村々を襲ったとき、村人から迫害を受けていた一族が、愛と勇気と力を持ってこれを退治したとの伝説がある。



疾飛丸

はやとびまる

鬼ヶ島で番をする符呪の物の怪。島を訪れた者を惑わす使い魔だが、妖魔を倒すために訪れた者と意気投合してしまったため、使命を果たせず自ら消え去ったと伝えられている。

お札系



壁系

答選坊

どうせんぼう

その姿は白塗りの巨大な壁で、人に危害を加えないが道を塞いで行く手を阻む。刀で斬ろうが大筒を撃とうがまったく受け付けない。ただし、隠されたツボを押されると弱い。



錠前お化け

じょうまえ

ば

妖怪の根城に現れる隻眼の物の怪で、錠前に似た容姿の通り、訪れた者が先へ進めないよう行く手を阻む。魔を祓う矢で目を貫けば姿をくらまし、道が開かれるという。

錠前系

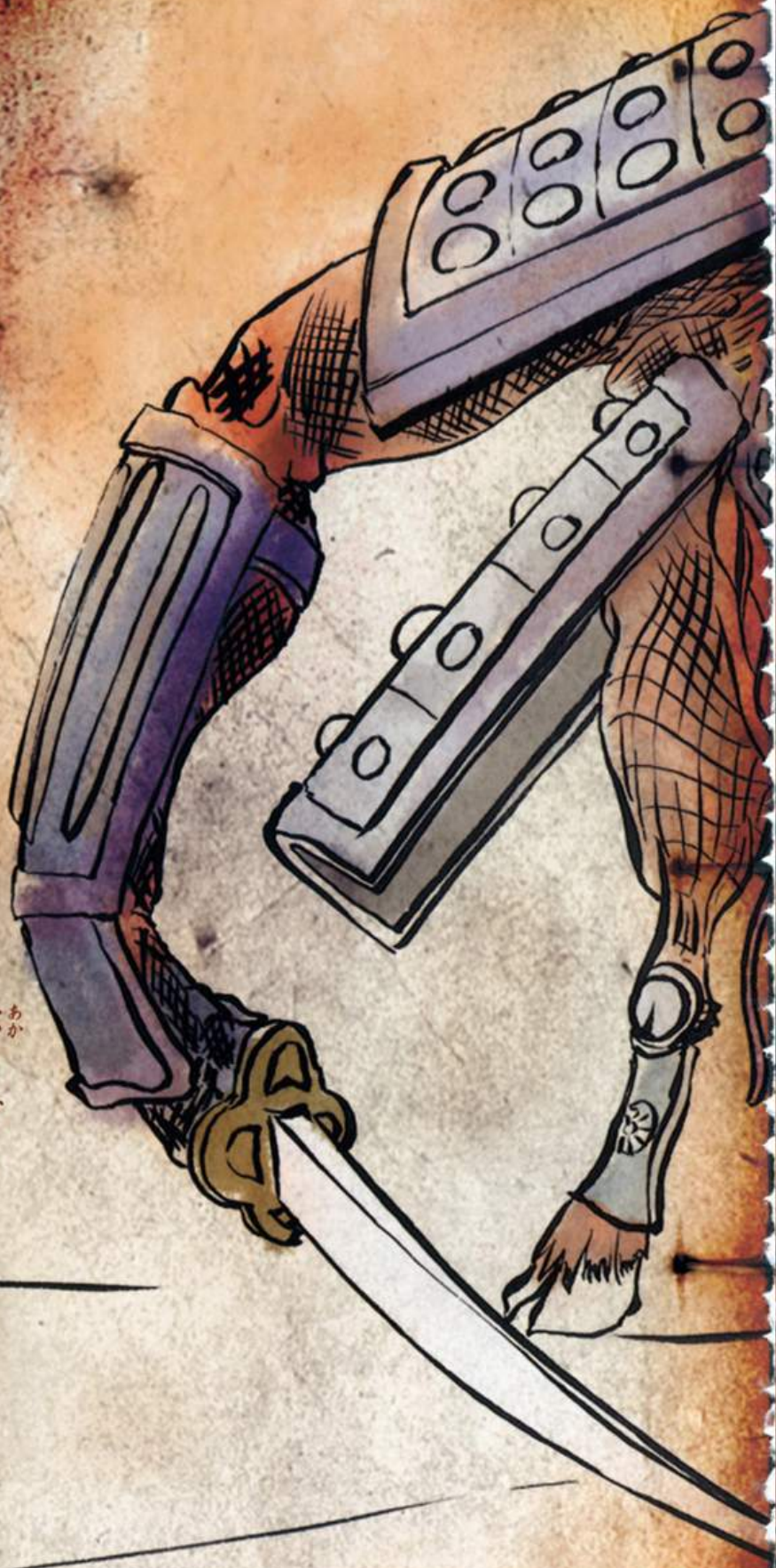
女郎蜘蛛

じょうろうぐも

古くからツタ巻遺跡に棲むと伝えられる大蜘蛛の妖怪で、八つの長い手足で人を襲い、体の中へ取り込んでしまう。蜘蛛の妖怪は人に化けるといわれるが、女郎蜘蛛も美しい女性の顔を持つ。しかし、その面には目が無く、代わりに八つの目玉が体の内に連なっている。この目玉を突いて、難を逃れた逸話も残されている。

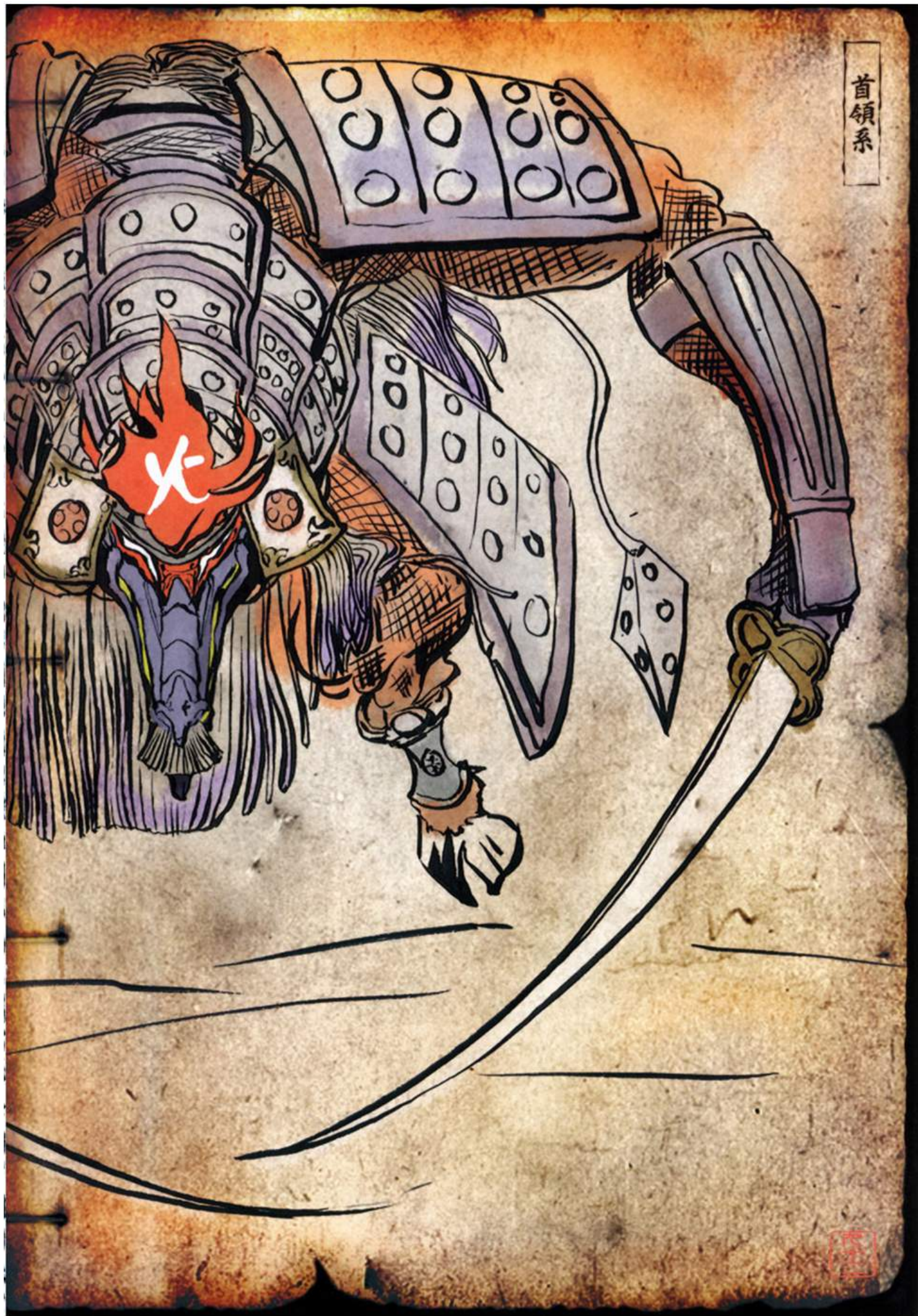






あか
赤カブト

百年にもわたって風神宮の
宮司と戦いを繰り返した。
高宮平の大妖怪。真紅の色
をした甲冑をまとい、体の
内は猛々しい炎が燃え盛っ
ている。両手に構えた野太
刀を振るうと紅蓮の炎が吹
き上がり、あらゆるものを
焼き尽くすと恐れられてい
る。赤カブトに襲われた風
神宮の宮司は、神風の力を
借りて紅蓮の炎を退けてい
たと伝えられている。





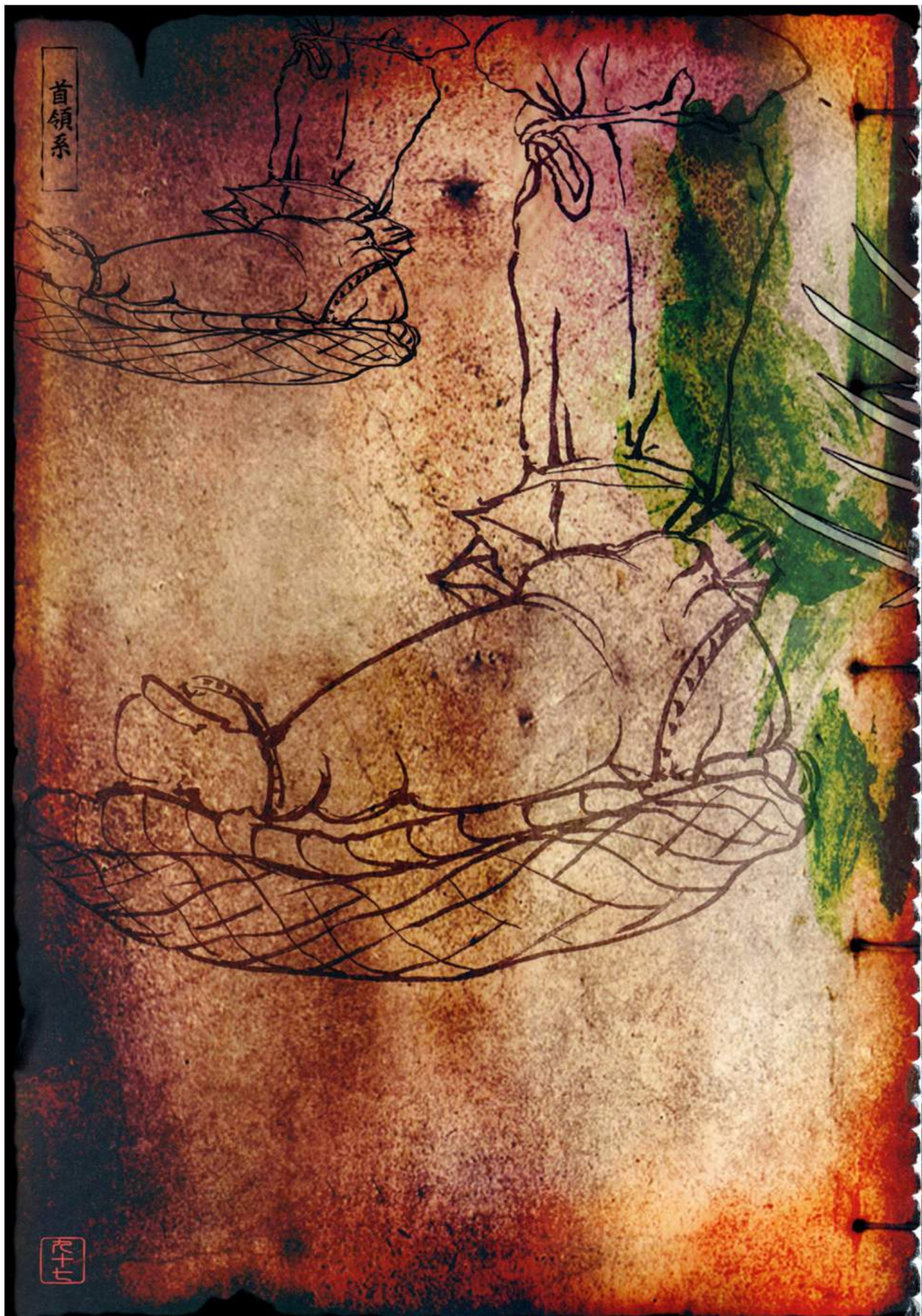
首領系



首領系

ヤマタノオロチ

百年前に白野威とイザナギに封印された大蛇。異なる力を宿した八つの頭は有名で、背負った鐘を百八つ鳴らすと、捧げられた生贄は心を惑わされてしまうという。イザナギたちに退治されたオロチは十六夜の祠に封じられていたが、宝剣「月呼」を抜かれたことから妖気を取り戻し、再び地上へ姿を現した。



首領系



エキビヨウ

長年にわたり、数多くの合戦場であ
まりにも多くの血を吸い続けた刀
に妖気が宿り、物の怪となった。人
の内へと入り込むと周囲へ瘴気を
撒き散らし、さまざまな災厄をもた
らす。無数の刀と矢が突き刺さった
落ち武者の姿をしているが、決して
だまされてはいけない。武者が手に
する妖刀「金釘」こそが、エキビヨウ
の本体なのだ。



キエウビ

鬼ヶ島に棲む妖魔の主。
妖器と神器を操り、刃向
かう者は絶望の淵へ追い
やる。高齡の狐は法力を
得るといふが、このキエ
ウビはそうした妖狐の類
をしのぐ存在である。

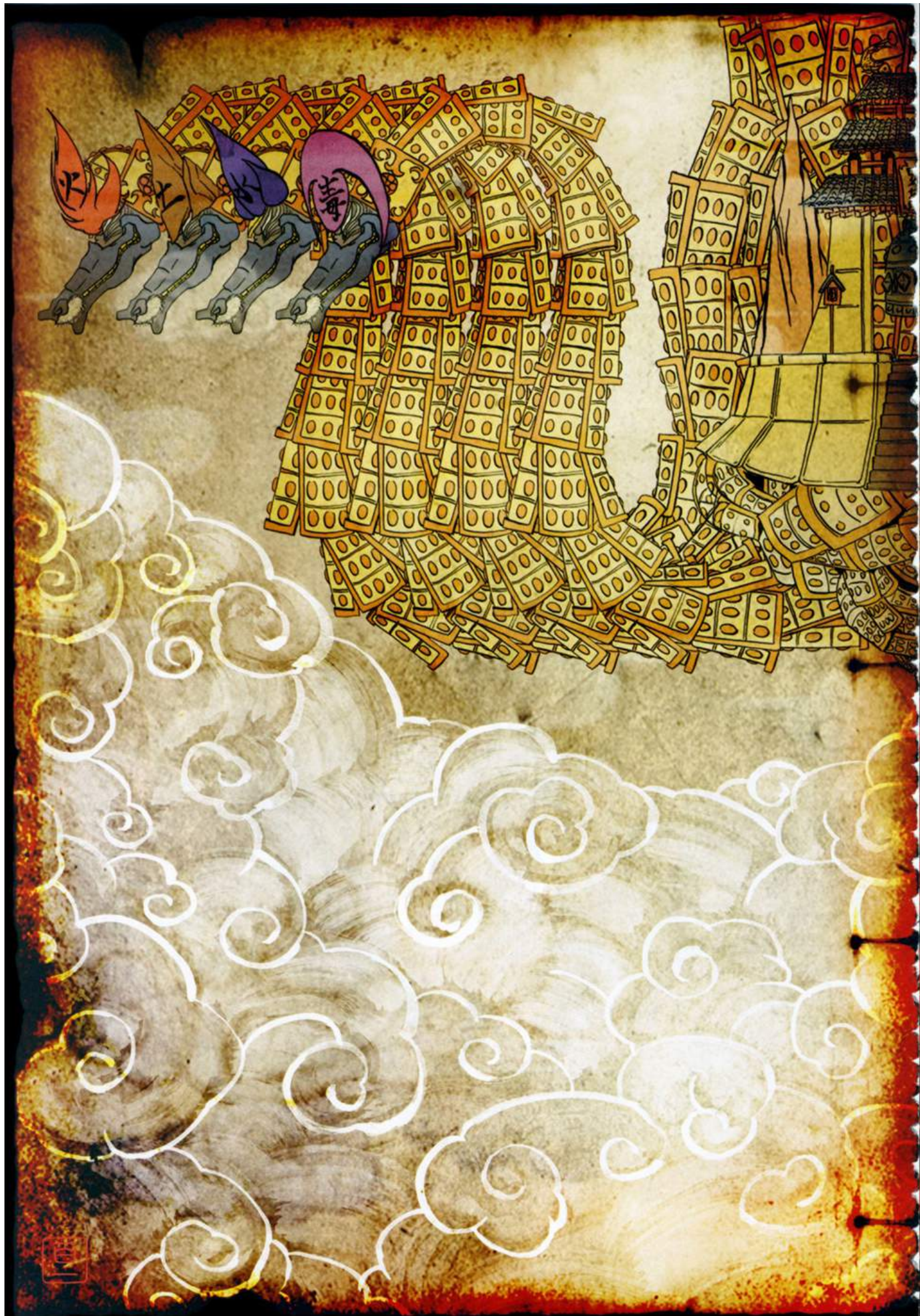


首領系



は 化け九十九尾 つつらお
妖魔の王キエウビが、尼僧に化けた姿。善行を積んだ尼僧ソツヲオをだまし討ちてあやめた後、キエウビはこの姿で妖器「キツネ管」を求め、都に暗躍したと伝えられている。





首領系

真しんやマタノオロチ

百年前、神木村に災厄をもたらしたヤマタノオロチの真の姿。靈力を持つ妹を指す「オロチ」の名の通り、その体軀は山のように巨大で、金色に輝く禍々しい光を放ち、あらゆる攻撃を跳ね除けたといわれる。生贄を装って近付いた勇者イサナギは八塩折之酒を使って泥酔させると、通力を失った八つの首を次々と斬り落として退治した。



白銀魔神 コタネチケ

最北の地カムイのエゾフジに現れた妖怪で、銀色の姿から白銀魔神と呼ばれた。オイナ族から忌み嫌われ、その名を口にする
ことさえも禁じられている。



黄金魔神 モシレチク

金色に輝く姿から黄金魔神と呼ばれる妖怪で、コタネチクと封になる存在。両者の名をつなけると意味をなすといわれ「時を刻むもの」や「月の歯車」など、数多くの解釈がある。







天道太子一寸

りあ佐和記

神御伝
天道太子

それらは全て、
全て月の民の意思
なのでしょうか？

この心を突き刺すような
気配…。

もしかして、

今この箱舟に、

あの月の民の男が

いるのですか!?

どこか…この舟の深層で、

あの男が苦しんでいるのを

感じます。

アマテラスさま、

一刻も早く

あの男に救いの手を差し伸べ、

災いの元凶を

討ち払い給え！

月の民の意思



アマテラスさま…

なぜあのような悲劇が起きたのでしょうか？

この箱舟やマトは、

月の文明で造られた

救いの舟として、

永くタカマガハラに

祀られていました。

だからこそ、タカマガハラが

魔物に襲われた時、

我々は生き残りを懸け、

この舟に乗り込んだのです。

それがまさか…天神族の

棺桶になろうとは！

いや…もしかしたら、

全ては最初から、

宿命付けられてた

事なのでしょうか？

タカマガハラを襲った

あの怪物やマトノオロチは、

突如として

星の海より飛来しました。

そしてタカマガハラと

我々天神族を滅ぼし、

更に下界までも

混乱の渦に陥れました。

大神天道繪卷



下界は
箱舟から
湧き出た
妖怪たちで
既に溢れかえっており、



その上：貴方の前に敗れ、
企みが適わぬとなるや、
今度は己の妖気を
下界中に放ったのです。



オロチの妖気は、
そんな妖怪どもを、
勢い付けさせるには
余りある物でした。
燻っていた
闇の勢力は、
爆発するかの如く、
一気に膨れ上がり、



天道太子
けりあはれ

遙か昔、貴方はやマタノオロチと
もつれ合うように下界へ零落し、
その後もオロチの息の根を止めるため、
予言の者を持ち続けられました。
貴方は永い永い年月を
じっと待ち続け、
そしてついに予言の者
イザナギが誕生し、
お二人の活躍で、
月よりの魔物の命運は
尽きたのでした。
しかしそれは、大いなる闇の流れの、
ほんの一部だったのです！
予言の者イザナギの伝説から
今年で丁度百年。
その間にあの魔物は、密かに妖力を
蓄え続けておりました。
そして、イザナギの子孫
スサノオを操って、
ついに復活を果たすと、
再び下界を征服せんと
牙を剥きました。



神体
天造太子一寸

天造太子一寸

下界にはかつてないほどの、
混乱の嵐が吹き荒れたのです。
その後は、アマテラスさまが
その目でご覧になって来た通りです。

貴方が魔物を退治された後、
その骸から逃げ去った妖気は、
全てこの箱舟やマトに集っております。

この膨れ上がった妖気の根源を討ち払うのは、
容易にあらざる事…。

闇の中心に在る物には、どうかご用心下さい。

ついに大いなる闇の波が、
うねり始めたようです！

この禍々しい妖気…

息苦しくて正気を保てません…！

アマテラスさま…、最後に一つだけ…金色の髪を持つあの月の民の男、

あの男にどうかお伝え下さい…。

オロチ襲来の際、アマテラスさまと共に

先陣を切って戦ったお前に、我々天神族は、感謝の念を忘れないと…！

大神傳聞録

『大神』の物語に登場する人物たちの以前と
その後に関与しての伝承を集めたものです。



『神器守りし花の姫』

アマテラス復活前のサクヤ。厳かな場面が多かったサクヤですが、普段はこんな感じです。



『風の村の戦士たち』

幸せな場面が描きたくて描きました。八犬士がマイペースなのは、きっとヤツフサが甘やかしたからでしょう。



『月より零れし者』

むかしむかし、静寂な竹林で……。初公開！ 竹取姫に注目です。



『早駆け一番』

妖怪たちにも普段の生活と人情があるんだよなあ、と思って描いた一枚です。それにしても、命懸けの遊戯ですね……。



『子供は登る』

イッスンとカイボクの出会いもいいかな、と思いましたが、昔の幼少時代が描きたくて、こちらの絵に。あまり成長してない気がしますね。オキクルミの暴虐さ、とか。



『商人定例大宴会』

開発当初は、まさかこんな集合絵が描けるほど行商人を作るとは思ってもみませんでした……。



『新穴掘り王誕生』

大人になって初めてわかる親の苦勞……みたいな。スサノオは誇らしげですけど。



『大親分の温泉浴』

気持ちよく朝風呂?? でも親分が入ったあとは、お湯が無くなってさうですよね。



『輪廻転生』

都より絶えることなく参る人々の傍らで、ひっそりと眠く……。



『海より深き愛に抱かれて』

消えゆく命もありますが、また生まれ来る命もある……と、描いていてホッとした覚えがあります。



『極北の國の守り神』

意外にヒリカが一番強そうですね。



『天道太子の使者たち』

犬の顔は、すっかりイッスンの特等席になったようです。



『新大剣士誕生』

最後の一枚はやっぱり神木村で、ほほ笑ましい日常の一コマを。実は、遠くでミカン嬢が洗濯をしています。



四葉堂所蔵

「大神」関連残存資料集

『大神』に關しての資料を膨大に所蔵している四葉堂の協力を得て、本書は成り立っています。ここでは、ひとつの章としてはまとまらない細かな資料を集めました。

『大神』の物語が未永く語り継がれることを、祈ってやみません。



『大神』で初めてのイラストです。今見るといろいろとつらいところが多いですが、あーでもない、こーでもないで試行錯誤して描いたので、気に入ってはいます。キャラが決まっていなかったところに描いたものなので、よく見ると面白いですね。イッスンが居なかったり、この男と女はだれ?とか、ご神木のデザインが違うとか、そもそもここはどこだとか。



チームに入って最初に描いたイラストです。三枚組で「大神」のイメージ画」というコンセプトでした。初めはもっと線も細かく描いていたのですが、もっと水墨画っぽく抽象的に、という話が出て、荒く描き直しました。水墨画の描き方や決まり事も参考にしましたが、少しは反映されたのかな……??



三枚組、其の二です。戦いの場面を、ということでおロチ戦を。このオロチは何度描いてもオーケーが出ず、「もっと荒く、もっと荒く！」と言われ続けました。このころメイシアザイナーの吉村さんは企画にいそんでいたのが私が描くことになったんですが……精一杯過ぎて、今見ると恥ずかしい限りです。



三枚組、其の三。「人との関わり合いを」ということで、村の風景を。夕日の色が効いてる一枚です。アマテラスはもう少し丁寧に描いても良かったかな、という気もします。背景で和紙のシミみたいになってるのは、実はご神木です。





稲葉さんに突然呼び出され、「パ——って感じで緑が広がる絵が欲しい!」と漠然と言われ、最初に画面にカタカナで「パ——」って書いてから描き出した絵です。制作期間一週間くらいでしょうか?『大神』にしては時間のかかった絵です。大抵、『大神』の絵は敵デザイン画二〜三日、イベント画で一日一〜二枚描いていたため、とてもじっくりと描けた絵でした。

各ゲーム誌 二〇〇五年九月九日掲載



6 四十六



雑誌の企画で「大神」を取り上げていただき、表紙を表裏使っても良いということだったので、ならばつなぎ絵に、と思っただけ描いた一枚です。お正月過ぎくらいの発売だったので賑やかな感じに、と神木村のキヤラと絡めています。この絵は筆ペンで描いたので、今見ると線が細いですね……。



ファミ通 WAVE 二〇〇六年三月号表紙 (二〇〇六年一月三十日発売)

稲葉さんからの要望で「海外向けになんか個性ある絵が欲しい」と言われ描いたのですが、描き上げたときに稲葉さんから、「ホンマにやりた
いはいやない」と言われた一枚です。あとは、神谷さんに顔が最初
チワワみたいと言われ、何度も修正した後に今の顔に落ち着きました。

佐和記



PLAYmagazine 二〇〇六年三月号カット



海外雑誌の表紙なので動きがあるものがいいだろう、と
アガタの一作を再現しました。カリウド親子はどっちの
応援をしてるんでしょうね？ この仕事は年末に急遽
入ったので、鳥崎的には年末年始のお休みが無かったこ
との記憶が大きいです……。

鳥崎

七十三

PLAYmagazine 二〇〇六年三月号表紙



ヤマタノオロチのストーリーをフィーチャーした、二枚セットのイラスト一枚目です。百年前のオロチ対イザナギ・白野威を迫力ある構図で、という意図で描きました。ネタバレになってしまうので、すべてのキャラクターをシルエットで描かなければならず、苦勞した覚えがあります。効果線やグワッと勢いのある炎で迫力は出せたと思うのですが、せっかく描いた背景が隠れてしまっていて残念です。



ファミ通 二〇〇六年四月七日掲載



ヤマタノオロチのストーリーイラスト二枚目。こちらは現代の神木村で、白羽の矢が突き刺さった場面。カメラを斜めに倒した構図で不安感をあおっています。心配するミカン、婆、オロチに對峙する決心を胸に抱くクシナダ、といったところでしょうか。ムシカイを守ったハヤブサのエビソードを入れたくて端っこに描いています。夜のシーンなので暗い空にしたら、やっぱりこれも背景が見えなくなってしまうました。



ファミ通 二〇〇六年四月七日掲載



海外版のパッケージイラストです。もともとは海外からのレイアウトがあったので、その主旨を反映して描いています。海外版は漢字でなくローマ字のタイトルなんです。ロゴありきのデザインになっています。

海外版パッケージ

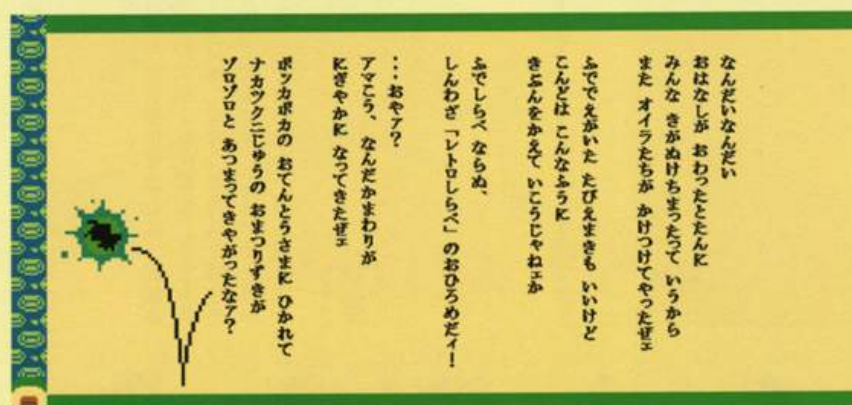




海外の広告用に描いたものです。アマテラスを先頭に筆神が勢ぞろい、という熱い構図で、かなり気に入っています。初めて筆神を描いたのですが、とても楽しく描けました。こんな風にチマチマしたものをいっぱい描くのは好きです。壁神（猫）が断神（ネズミ）を狙っているところが密かなポイント。



海外版ポスター



『大神』ホームページの「レトロシリーズ」用に描いたフラッシュ。



Page 5

© 2004 Yamaha Co., Ltd. All Rights Reserved. REPRODUCED BY CAPSULE CO., LTD.

Page 6

© 2004 Yamaha Co., Ltd. All Rights Reserved. REPRODUCED BY CAPSULE CO., LTD.

Page 7

© 2004 Yamaha Co., Ltd. All Rights Reserved. REPRODUCED BY CAPSULE CO., LTD.

アレンジを担当しました上田雅美です。普段はリアルな音を出すことに一生懸命なのですが、今回は音色や発音数の制限がある中でのアレンジ作業で、とても新鮮に感じ、楽しみながら作ることができました。なるべく原曲の雰囲気や崩さないよう配慮したつもりです。レトロアレンジのため、鍵盤で弾くにはかなり難がありますので、ご注意を。楽譜片手にレトロアレンジを聴いたり、打ち込んだりしてもらえると嬉しいです。





太陽は昇る

レトロバージョンスコア

太陽は昇る レトロバージョン

作曲: 近藤 隆 編曲: 上田 雅美

Part 1
Part 2
Part 3
Part 4
BGM

Page 1

Part 1
Part 2
Part 3
Part 4
BGM

Page 2

作曲 近藤 隆
編曲 上田 雅美

Part 1
Part 2
Part 3
Part 4
BGM

Page 3

Part 1
Part 2
Part 3
Part 4
BGM

Page 4

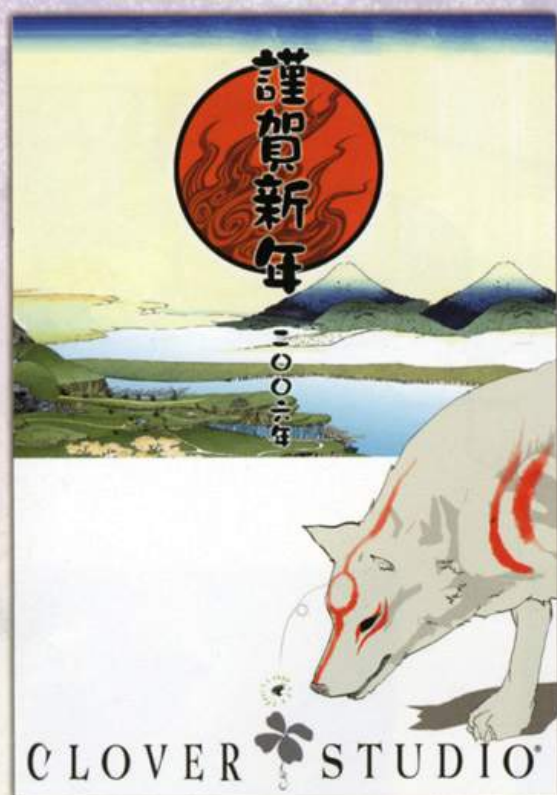


「大神」スタッフと語り合う夕べ用色紙

二〇〇六年七月一日、大阪某所で全国から選ばれた十名の大神ファンと製作スタッフ六人とで、「大神」を語り合う夕べが開催された。この会場で、ファンの方たちにプレゼントされた十枚のイラストです。



二〇〇五・二〇〇六年年賀状



E3 2006 (Electronic Entertainment Expo)

アメリカで行われる世界最大のゲームイベントE3。
大神のブースで使用されたポップ、というより看板ですね。
非常に大きなもので、会場でも目立っていました。



販促用ぬいぐるみ アマテラスくん

大神の販促用に制作された一点物のぬいぐるみです。E3や完成披露会などのイベントに同行し、お客さんやスタッフを大いに癒したそうです。



『大神』生みの親である二人から

大神を愛してくれた貴方へのメッセージ

神谷と二人で『大神』というタイトルを立ち上げたのは、もうずいぶん昔のことになりますかね。「何やりたい？」と聞いたのは僕ですが、まさか『自然』や『癒し』といったキーワードが彼の口から飛び出すとは、まったく予想外のことで……。そのギャップも面白かったのですが、彼が語る情景がスツと頭の中に思い描けたことを、昨日のこのように覚えています。ゲームとしての最終パッケージはまったく形になっていませんでしたが、どうしようもなくワクワクする刺激感に僕自身が熱くなってしまう、クリエイターとしてのリビドーを抑え切れない自分がそこにいました。冷静になろうと努力し、プロデューサーとしての自分が出した結論は『これを伝えたい！』ということ。何だかわからない生命力と、何だかわからない温かさを持って生まれようとしているこの作品を、世に出して人に伝えてみたい。今度はプロデューサーとしてのリビドーで自分の中がいっぱいになったわけです。

この最初の時にチャージできるエネルギー（＝リビドー）は、とっても大切です。これが作品を制作する期間の中で、少しずつ消費してゆくエネルギーとなるわけですから。当然、辛いことや思い通りにいかないことがあれば、その時にエネルギーはドカドカと消費されてゆきます。E3やTGSなどの出展で高評価を得たりすることとで多少の再チャージはできますが、そんな機会はわずかしかなかった。しかし、二年八カ月という長期に及ぶ制作の中、そのエネルギーが空っぽになることはありませんでした。どれだけ最初の想いが大きかったのか、ということ、今振り返っても思い知らされます。結果として、『大神』は非常に質の高い作品として世に出し伝

えることができました。「もう少し時間があれば……」「もう少し人手があれば……」そういう想いが消えることは決してありませんが、正直言って、六千八百円という値段を付けることには、最後まで抵抗を感じていました。『大神』には、もっともっと高い値付けをするだけの価値があるはずだ。これから先の人生で、あと何回このような質の高いコンテンツ制作を行うチャンスがあるのでしょうか……？

オリジナルタイトル制作を終えるたびに、毎回思うことです。もう、この作品を超えることはなかなか難しいだろうなあ。たぶん、まだ見ぬ未来の作品が出たあとでも、そう思うことでしよう。しかし、この『大神』を作り上げたスタッフたちの輝きは、この瞬間だけ味わえるものです。すべてのタイミングと運がそろわなければ、このようなモノが生まれることも無かったでしょう。制作に関わったありとあらゆるクリエイターたちのリビドーを飲み込んで、飽き足らなかったこの作品は、いわば化物物のようなものです。この化物物に生気を吸い尽くされ、すり切れたクリエイターも一人や二人ではありませんでした。……プロデューサーとして、クリエイターとしてのリビドーに忠実に、この作品を世に出して伝えることができて、本当に良かったと思っています。

稲葉敦志



「グラフィックを和風タッチに仕上げよう」……そのアイデアが僕の頭に閃いたのは、デザイナーの吉村君が描いた、一枚の絵がきっかけでした。リアルタッチのグラフィックでは、頭にある大自然を描くことが到底不可能だということが分かり、さてどうしよう……と行き詰っていた時の出来事でした。

ゲーム作りには「閃き」が大切だと僕は思います。必死で考えを巡らせ、何らかの根拠に基づいて導き出した答えも、たった一つの閃きにはかなわない時があるからです。思い返してみれば、「大神」における重要な遊びの一つ「筆しらべ」も、まるで天啓を得たかのように、突然頭に閃いて生まれたものでした。その閃きまでに、長大な時間を費やしてしまいましたが……（笑）。

ともかく、僕自身はそんな閃きに期待してゲーム作りに臨んでいます。しかし、皆さんもお分かりのこととは思いますが、「閃き」なんて漠然としたものは、到来することが必ず約束されているというものではありません。いくら待っても訪れないかもしれないし、訪れたと思ったらまったくの見当違いなものか、あるいはとんでもない遅刻だったりするかも知れないのです。それでも、僕は「閃き」を探し続けます。待っていても来ないものは、探すしかありませんから、それはもう草の根分けてでも見付け出してやるという意気込みで、日々脳みそに鞭を打っています。ではなぜ、そんなにも「閃き」を追い求めなくてはならないのでしょうか。

ことあるごとにコメントしてきた通り、僕は昔から「ゲームが大好き」です。でも、それは「ゲームなら何でも好き」という意味ではありません。今も心に残っているような、優れたゲームに感謝と尊敬の気持ちを込めての「ゲームが好き」という言葉です。今の僕のゲーム作りの信念を支えるそうした偉大なる先人たちには、何かしら

「光るもの」が宿っていました。ゲームによって形は違いますが、何か神々しいほど輝く魅力が、作品を唯一無二の名作たらしめていたのです。

僕が求めている「閃き」とは、まさにその「光るもの」の原石です。「閃き」に心血を注いで一生懸命育てていけば、やがとそれが「光るもの」に成長するのです。ワザワザ「閃き」を待たなくても、優れたアイデアが最初から頭の中にあつたら、どんなに楽なことでしょうか。しかし、残念ながら僕はそこまで優れたクリエイターではありませんので、無いものを補うためにあれこれ手を尽くさなくてはなりません。それには時間も苦勞もかかりますが、「光るもの」が無くては「人の心に残る作品」は到底作れないと知っているからこそ、僕は一生懸命「閃き」を探し続けるのです。

……そんな僕ですから、会社や一緒にチームを組んでいる仲間たちにとっては、非常に厄介な存在であることでしょうね（自分で言うのも何ですが）。もう、言い訳のしようもありません。苦勞をかけてスイマセンとしか、言葉が出て来ないです（笑）。まあそんな内輪のハナシは置いて、ユーザーのみなさんにはこれだけは約束しましょう。僕は、これからも自分の信念を貫き通してゲームを作り続けます。それができなくなつてこの業界を去るまでは、僕が感動をもらった素晴らしいゲームたちに負けない、個性的な魅力溢れる作品を目指して頑張ります。この画集にあるような、自分の仕事に「光るもの」を宿そうと全力を尽くす、同じ志を持った仲間たちとともに。

神谷英樹





制作進行

岡本匡博

マーケティング

寺田歩未
木村雅人

プロモーションムービー

日高寿一

WEB

高橋大

ローカライズ

前田佳江

デビッド・クリスワテ

ブランドン・グレイ

船越香織

インタック株式会社

ジャケッットグラフィック

『野性の胎動』

作 木村圭吾

題字

成田真舟



テーマソング

『Reset』

作詞 TAK&BABY

作曲 JUN

竹下欣伸

青柳 延幸

平原 綾香

スペシャルサンクス

川村 泰久

海部 潤司

米持 恵子

森原 まどか

高野 和菜

神谷 美代子

外部協力

山本 新一郎

杉本 祥二郎

阪下 大

利井 克一

上野 哲也

河野 泰平

石川 裕子

青木 英雄

ゲームエイジ総研

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

アサフー・ディ・ケイ

CLOVER STUDIO

監督／おはなし
神谷 芙樹

製作
稲葉 敦志



『大神』 製作者



企画

リードプランナー

柴田洋

視覚

大塚大

企画補佐

加藤弘喜

山田政明

藤井天晴

キャラクターデザイン

リードキャラクターデザイナー

志村健一郎

竹亭任和記

島崎秋生

3Dモデル制作

田崎一親

服部義史

モーション制作

山口孝明

岩元辰郎

山崎信昭

西村栄治郎

舞台美術

リード美術デザイナー

片貝直紀

舞台デザイン/カメラワーク

菅裕介

舞台制作

野阪崇人

南康一

木村祐大

坂田太朗

中村育美

徳田昌紀

鈴木啓司

石田周平

中井大輔

満光太郎

インターフェイスデザイン

阪本美帆

演出効果

リード効果デザイナー

山本拓生

エ藤寛和

ソフトウェア設計

リードプログラマー

高橋龍太

ブレイヤー制作

唐津麻勝俊

華しらべ

石川慎一郎

妖怪操演

大谷規之

植田尚

イベントシステム/人物操演

大森 亘

舞台設計

千星修一郎

萩山勇二

高橋遼一

森田和則

インターフェイス設計

三枝悦也

乱数生成器

メルセデス・ツィスタ

音楽

リードコンポーザー

上田雅美

山口裕史

近藤弘之

近藤 誠

近藤 誠

近藤 誠

近藤 誠

効果音

リードサウンドデザイナー

森 敦史

池田原優基

酒田大亮

松本孝太郎

山寺安生

山寺安生(御音生音蔵)

サウンドライバー

本塚秀成

山村美由紀

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

伊藤 誠

大神繪草子

絆

作り手

編集・発行

株式会社カプコン

編集

プロダクト・マネジャー

北裏裕章 (株式会社カプコン)
館野頼正 (株式会社カプコン)
大野哲也 (株式会社カプコン)

企画・制作

有限会社 カリタジアン

構成・編集

石丸敬治 (カリタジアン)
花澤えりか (カリタジアン)
大塚寛子 (カリタジアン)
平野玲子 (カリタジアン)

執筆

吉田俊朗 (カリタジアン)
石丸敬治 (カリタジアン)

装丁

渡邊規美雄 (アンバーグラフィック)

カバー題字「絆」

平野玲子 (カリタジアン)

意匠

渡邊規美雄 (アンバーグラフィック)
泉隆則 (アウトブットファンクション)
田口瞳 (アウトブットファンクション)

監修・協力・カバー繪

クローバースタジオ株式会社「大神」開発チーム

発行 2006年9月29日 初版

発行人 辻本春弘

編集人 中村寛文

発行所 株式会社カプコン

〒540-0037

大阪府大阪市中央区内平野町3-1-3

販売元 株式会社カプコン

〒163-0425

東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

電話番号 03-3340-0720

ファックス 03-3340-0818 (ともに受注専用)

印刷所 共立印刷株式会社

本書は著作権上の保護を受けています。本書の全部、あるいは一部を小社からの文書による承諾を得ずに無断で複製することは、いかなる方法においても禁じられています。

定価はカバーに表示してあります。

落丁・乱丁本は、お手数ですが下記ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

(株) カプコン ユーザーサポートセンター 電話番号 06-6946-3099
九時~十二時 十三時~十七時半 (土日祝日を除く)

ISBN+8623-088-6-C0076

©CloverStudio Co., Ltd. 2006 All Rights Reserved. DISTRIBUTED BY CAPCOM CO., LTD.